

第4回 独身者(40～50代)の老後生活設計ニーズに関する調査: 調査結果の概要(男女比較および年齢階層別比較)

長野 誠治

公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構主任研究員

【 記 事 情 報 】

掲載誌：年金研究 No.3 pp. 130-188 ISSN 2189-969X

オンライン掲載日：2016年6月28日

掲載ホームページ：<http://www.nensoken.or.jp/nenkinkenkyu/>

要旨

(1) 仕事について

男性の場合、50代後半で正社員の割合が激減する一方、無職や自営の割合が増加する。女性の場合、年齢階層が上がるにつれて非正規の割合が低下するものの、男性に比べると非正規の割合が高い。また、男性は専門職が多い一方、女性は事務的な仕事が圧倒的に多い。現在の仕事の継続期間は男女平均で12年4ヵ月。仕事の悩みのトップは「収入が少ない」であり、回答者の半数がそのように回答している。さらに、6割以上が定年制はあると回答。そして、「定年よりも前に適当な仕事があれば転職したい」という回答が男女全体では1番多い。退職意向年齢は男女平均で63.7歳、男性の方が女性よりも2歳以上遅い。これまでの職歴では「最初の仕事と現在は異なる」が1番多く、過半数を占める。離職経験のある人の初職は男女ともに「正社員」が75%と1番多い。ただし、初職が非正規だった人は男女ともに現在40代前半層が比較的多い。初職が非正規であった人で現在も非正規である人の割合が、現在は正社員である人の割合を大きく上回る。転職の回数は平均4回。現在、仕事についていない理由は「希望する仕事がない」が1番多い。女性では「親等の介護で手が離せない」が男性に比べて多い。

(2) 家族・家計について

世帯人数は本人のみの独居が1番多く40%を占める。同居相手は「母親」がトップ。生計維持の中心者は「本人」「父親」の順。女性のみに限定すると、生計維持の中心者は「父親」が第1位。世帯全体の年間収入額は「200万円以上300万円未満」が1番多い。世帯の収入源は「自分の仕事の収入」がトップで8割弱、次いで「親の年金収入」が40%強。本人の仕事の収入は平均275万円。女性の方が男性よりも60万円程度低い。「厚生年金に加入」が40%、「国民年金保険料を全額払っている」が14.4%。社会保険の加入状況は「国民健康保険」が55.5%でトップ、次いで「健康保険・共済組合(本人)」が40.8%。1ヵ月の生活費は「10万円未満」が25.8%でトップ。住宅ローンの保有割合は7%であり、平均残高は1,400万円。住宅ローン以外のローンは男性の方が女性よ

りも保有割合が高い。老後のための資産形成手段は「預貯金」が 66.5%でトップ、一方で老後の資産形成を「何もしていない」が全体で 24.5%を占め、女性、特に非正規女性の場合、その割合が高い。

(3) 住まいについて

現在の住まいは「親の持ち家」「賃貸住宅」「自分の持ち家」の順。家賃は月額平均 5 万 2,000 円。持ち家の築年数の平均は 30 年。老後の住まいと同居意向は、「現在の家に住み続ける」が 6 割、「1 人で暮らす」が 46%であり、それぞれ第 1 位。

(4) 今の生活について

健康状態は「まあ健康」が 43%、充実した気持ちを感じる時は「趣味やスポーツに熱中している時」が 26%で、それぞれトップ。病気の時の看護や家事・介護、あるいは経済的援助に関して頼りにできる人は現在「特にいない」が、ほぼ過半数を占める。老後においては、その割合がさらに高まる。生活の満足度は、仕事の内容、職場の人間関係、趣味やスポーツ活動、家族、友人等に関しては「まあ満足」がトップ。一方で、収入や資産・貯蓄といった経済面については「やや不満」が第 1 位。今の生活については、生活全般、自分の健康、生活費、面倒をみてくれる人がいないこと、雇用の不安定さ、のいずれも「少し不安に感じる」がトップ。老後についても多くの項目で「少し不安に感じる」が第 1 位。ただし、住宅、趣味や友人との交際などでは「あまり不安でない」がトップ。結婚の意向については、「結婚するつもりはない」が 50%でトップだが、僅差で「適当な人がいたら結婚したい」。過去または現在の介護経験では 17%が「ある」と回答し、その対象は「母親」が最も多く、「同居家族が介護した（している）」という回答が比較的多い。将来、家族が介護状態になった場合は「在宅介護を利用」が 20%であり、第 1 位。

(5) 老後の生活について

老後の生活設計を考え始める時期は「まだ考えていない」が 62%でトップ。老後に最低限の生活を営むために必要な 1 ヶ月の生活費は「10 万円以上 15 万円未満」が 33%、ゆとりある生活を営むのに必要な生活費は「20 万円以上 25 万円未満」が 27%であり、それぞれトップ。老後における収入源の 2 本柱は「公的年金」と「仕事による収入」。将来の公的年金の受取見込み額（月額）は平均 9 万 5,000 円。将来、自分が介護状態になった時の対処方法は「在宅介護」が 34%でトップ。

1 仕事について

1.1 現在の就業状況

働き方について、男性の 40 代および 50 代前半では正社員の割合が 40~50%だが、50 代後半では 25%に激減する一方で、仕事に就いていない人の割合が 29%に激増する。非正規¹については、各年代を通して 20%前後で推移している。自営・自由業は、年齢階層が上がるにつれて漸増傾向をたどり、特に自営の割合は 10%前後から 17%へ上昇している。

女性の 40 代および 50 代前半では、正社員の割合が 30%台後半で推移しているが、50

¹ パート、アルバイト、契約社員・嘱託、派遣社員の合計。以下同様。

代後半では 20%半ばに低下している。男性と同様に、仕事に就いていない人の割合が 50 代後半では 29%まで激増する。非正規は 40 代が 36%、50 代前半が 30%、50 代後半が 24% と、年齢階層が上がるにつれてその割合は低下傾向をたどっている。ただし、男性に比べると女性の方が非正規の割合は高い。

図表 1 従業上の地位(%)

	n=	経営者・役員	正社員	パート	アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	自営業	家族従業員	自由業	内職	その他	仕事に就いていない
TOTAL	2,275	1.2	38.9	7.3	6.2	7.6	5.2	9.7	0.5	3.9	0.7	1.1	17.7
男性40-44歳	394	2.5	51.0	2.5	4.8	7.1	5.1	10.9	0.8	2.8	0.3	0.8	11.4
男性45-49歳	296	1.4	42.6	3.4	9.1	3.7	5.1	12.8	0.3	3.4	0.3	0.3	17.6
男性50-54歳	242	1.2	43.0	4.1	4.1	6.2	2.9	16.9	0.0	3.3	0.4	1.7	16.1
男性55-59歳	204	2.5	25.0	2.9	5.9	9.8	0.5	17.2	0.0	4.4	0.5	2.5	28.9
女性40-44歳	443	0.2	37.7	11.3	6.8	8.8	9.3	4.7	0.7	4.1	1.6	0.7	14.2
女性45-49歳	302	0.7	36.1	12.6	7.3	9.3	7.3	3.0	0.3	4.6	0.3	0.3	18.2
女性50-54歳	213	0.9	37.1	10.8	5.2	9.9	3.8	8.0	0.9	2.8	1.9	1.9	16.9
女性55-59歳	181	0.6	26.5	10.5	5.5	6.1	2.2	8.8	0.6	7.2	0.6	2.2	29.3

1.2 勤務先の規模

男性は女性よりも勤務先の規模が 0 人（自営）の割合が多く、50 代では 10%台後半から 20%弱に増加している。規模別の偏りは、男女別および年齢階層別にみるかぎり、さほど大きな差異がない。

図表 2 勤務先の規模(%)

	n=	0人※自分を含まず	1人以上5人未満	5人以上30人未満	30人以上100人未満	100人以上300人未満	300人以上1,000人未満	1,000人以上	官公庁	わからない
TOTAL	1,767	9.6	11.4	16.3	14.3	10.4	9.2	15.4	4.4	9.2
男性40-44歳	337	9.2	9.2	14.8	16.0	11.6	11.3	14.2	5.3	8.3
男性45-49歳	233	13.3	9.0	21.0	11.2	10.7	7.7	17.6	3.0	6.4
男性50-54歳	194	16.5	11.9	12.4	16.5	10.3	5.7	16.5	5.2	5.2
男性55-59歳	135	19.3	14.1	11.9	15.6	7.4	13.3	11.1	3.7	3.7
女性40-44歳	355	4.8	10.7	16.1	13.8	11.3	8.7	15.8	5.4	13.5
女性45-49歳	232	3.4	11.2	16.8	14.7	10.8	9.5	17.2	4.7	11.6
女性50-54歳	167	6.6	13.8	20.4	12.0	9.0	5.4	15.6	3.6	13.8
女性55-59歳	114	11.4	17.5	16.7	14.9	7.9	13.2	12.3	0.9	5.3

1.3 就業先の業種

男性では、就業先の業種割合が最も高いのは製造業で、40 代から 50 代前半で 20%超を占める。その他のサービス業も各年代で 10%から 20%を占めている。

女性では、卸売・小売業、医療・福祉、その他サービス業の 3 業種の割合がそれぞれ 10%台前半で、他の業種に比べて高い。製造業およびその他もこれらに次いで高いが、男性に比べて就業している業種が分散している傾向がみられる。

図表 3 就業先の業種(%)

	n=	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業
TOTAL	1,873	1.1	0.0	0.0	5.4	15.9	0.6	4.2	4.6	11.9	3.8
男性40-44歳	349	1.1	0.0	0.0	6.0	21.8	0.9	6.9	6.6	9.7	2.9
男性45-49歳	244	1.2	0.0	0.0	6.1	22.5	0.4	5.7	8.6	7.4	3.3
男性50-54歳	203	3.0	0.0	0.0	3.4	23.2	1.0	2.0	5.4	10.3	4.4
男性55-59歳	145	1.4	0.0	0.0	6.9	10.3	1.4	3.4	4.1	9.0	1.4
女性40-44歳	380	0.5	0.0	0.0	5.0	12.1	0.8	3.2	4.2	14.5	3.7
女性45-49歳	247	0.8	0.0	0.0	7.3	9.7	0.0	5.7	1.6	12.6	4.5
女性50-54歳	177	0.6	0.0	0.0	4.0	13.6	0.0	1.1	1.7	16.9	5.1
女性55-59歳	128	0.0	0.0	0.0	3.9	7.8	0.0	2.3	2.3	15.6	7.0

	n=	不動産業、物品賃貸業	研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されないもの）	その他（分類不能の産業）
TOTAL	1,873	2.7	3.3	3.0	1.7	6.1	8.7	1.3	13.4	3.7	8.5
男性40-44歳	349	2.0	2.6	3.7	2.9	4.3	4.6	1.4	11.7	4.9	6.0
男性45-49歳	244	2.9	2.5	3.7	2.0	4.9	4.9	0.8	15.2	2.5	5.3
男性50-54歳	203	4.4	5.4	3.4	0.0	3.0	3.9	2.0	11.8	4.9	8.4
男性55-59歳	145	5.5	4.1	1.4	2.1	7.6	8.3	0.7	20.7	4.1	7.6
女性40-44歳	380	1.8	3.2	2.4	2.4	6.8	13.4	0.8	12.4	4.2	8.7
女性45-49歳	247	1.6	2.0	2.0	0.8	9.7	14.2	1.2	11.7	2.4	12.1
女性50-54歳	177	1.1	4.0	5.1	0.6	5.6	9.6	2.3	15.3	4.0	9.6
女性55-59歳	128	5.5	4.7	1.6	0.8	8.6	9.4	2.3	12.5	1.6	14.1

1.4 仕事の内容

仕事の内容については、男性は専門職が最大の構成比を占めており、年齢階層が上がるにつれて 20%から 30%へ上昇していく。次いで事務的な仕事と製造の仕事が 10%台前半から 10%台半ばを占めている。営業・販売やサービスの仕事は 10%前後だが、年齢階層が高くなるとその割合は低下していく。一方で、保安の仕事が 50 代後半では 10%に急増する。

女性の場合、事務的な仕事が圧倒的に高く、全体のほぼ半分を占める。次いで専門職が 2 割弱、サービスの仕事が 1 割強と続いている。

男性は仕事の内容が多岐にわたる分散化の傾向を、女性は上記 3 業種に固まる集中化の傾向を示している。

図表 4 仕事の内容(%)

	n=	専門知識・技術をいかした仕事(研究者、教員、医師・看護師、システム・エンジニア、デザイナーなど)	管理的な仕事(課長以上の管理職。部長、課長など)	事務的な仕事(管理・企画・販売・経理にかかわる事務、コールセンター職員、秘書など)	営業・販売の仕事(セールスなど営業・販売担当者、生命保険外交員など)	サービスの仕事(理・美容師、調理師、店員、ウエイター・ウエイトレス、家政婦、ホームヘルパーなど)	農林漁業の仕事(農家など)	保安の仕事(警察官、消防署員、自衛官、警備員、監視員など)	運輸・建設の仕事(バス・タクシー運転者、車掌、建設土木作業員、大工・左官など)	製造の仕事(工員、製造工など)	その他	わからない
TOTAL	1,873	21.9	3.5	30.8	8.0	9.1	0.9	1.9	4.0	8.3	5.6	5.9
男性40-44歳	349	22.9	4.9	16.6	10.6	9.5	1.1	1.7	9.2	12.3	5.4	5.7
男性45-49歳	244	22.1	4.9	12.3	9.8	10.2	1.2	3.3	8.6	16.4	4.9	6.1
男性50-54歳	203	24.6	6.9	13.3	10.8	5.4	2.5	3.4	5.9	13.3	9.9	3.9
男性55-59歳	145	31.7	7.6	9.0	6.9	4.8	1.4	10.3	4.8	7.6	8.3	7.6
女性40-44歳	380	18.2	0.8	48.7	5.5	10.5	0.3	0.0	0.5	3.4	3.7	8.4
女性45-49歳	247	19.8	1.2	51.8	6.1	8.1	0.4	0.0	0.0	4.5	4.0	4.0
女性50-54歳	177	17.5	3.4	48.6	5.1	11.9	0.6	0.0	0.0	2.8	5.1	5.1
女性55-59歳	128	24.2	0.0	39.1	9.4	10.2	0.0	0.0	0.8	4.7	7.0	4.7

1.5 現在の仕事の継続期間

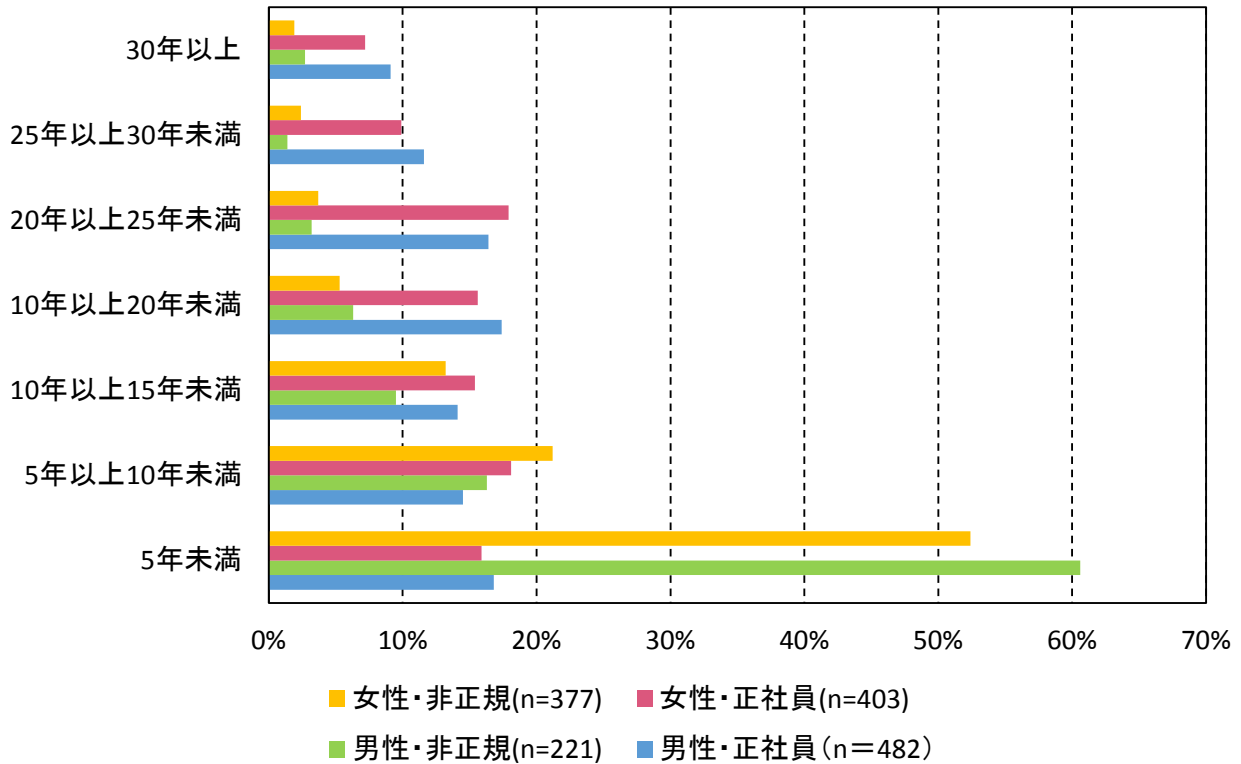
現在の仕事の継続期間は、男女平均² (n=1,873) で 12 年 4 ヶ月。男性 (n=941) では平均 12 年 11 ヶ月、女性 (n=932) では平均 11 年 7 ヶ月と男性の方が女性よりも 1 年 4 ヶ月長い。

男女別、正規・非正規別にみると、正社員では男女間で大きな差はなく、25 年未満の各期間でほぼ均等に分布している。

非正規については、5 年未満が 50%以上を占めており、継続期間が長くなるほど、その割合は減少していくことから、短期間で仕事を移る傾向が認められる。男女別では、5 年未満では男性の割合が女性を上回っているが、5 年以上 15 年未満の期間では女性が男性を上回っている。

² 平均値を算出するにあたっては、 $\mu \pm 4\sigma$ 以上は異常値として除外した。以下同様。

図表 5 現在の仕事の継続期間

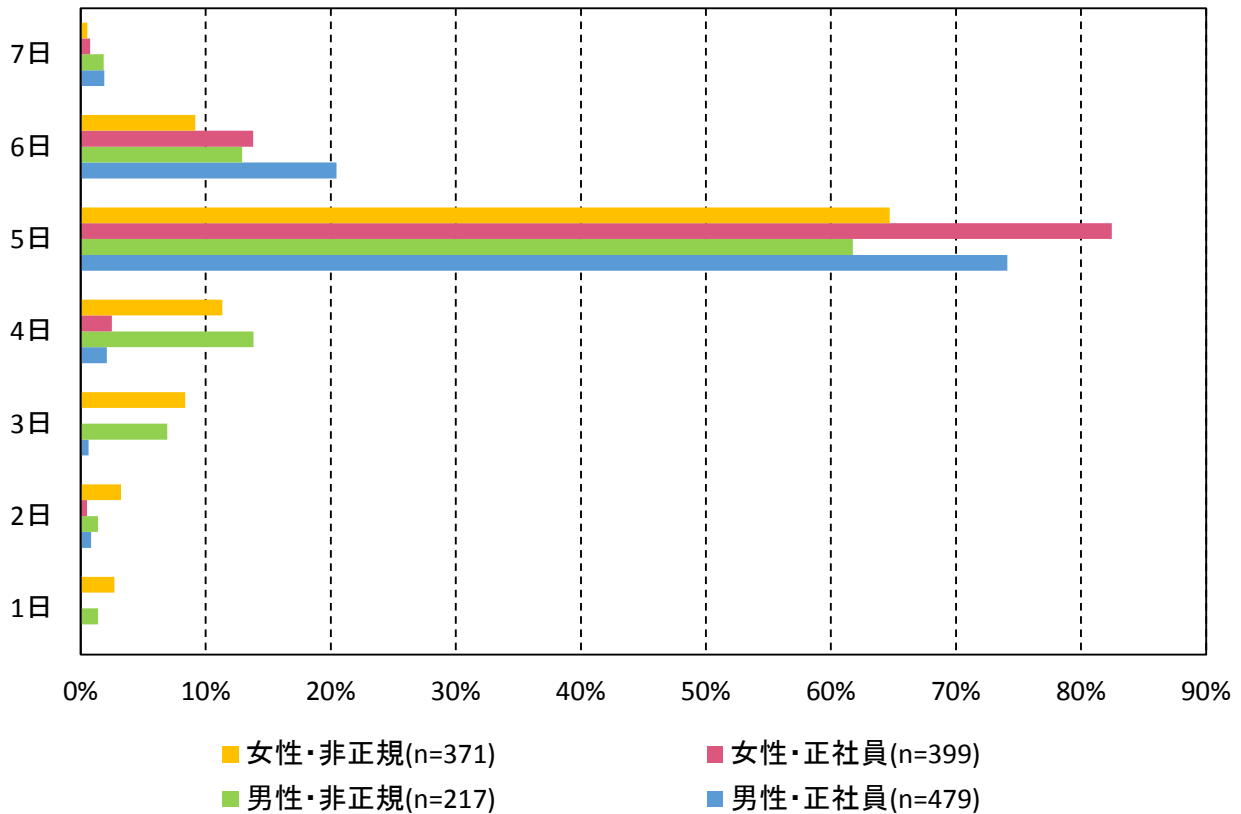


1.6 1 週間の労働日数

1 週間の労働日数は男女全体（n=1,840）では平均 4.9 日。男性（n=929）は同 5.1 日、女性（n=911）は同 4.8 日で、女性の方が男性に比べてやや短い。

正規・非正規別にみると、正社員では週 5 日が 70%以上を、次いで 6 日が 10～20%を占める。非正規でも週 5 日が正社員と同様に第 1 位だが、割合は 60%超にとどまり、週 4 日と週 6 日がそれぞれ 10%台を占めている。さらに正社員ではほとんどみられない週 3 日勤務も非正規では 7～8%を占めている。

図表 6 1 週間の労働日数

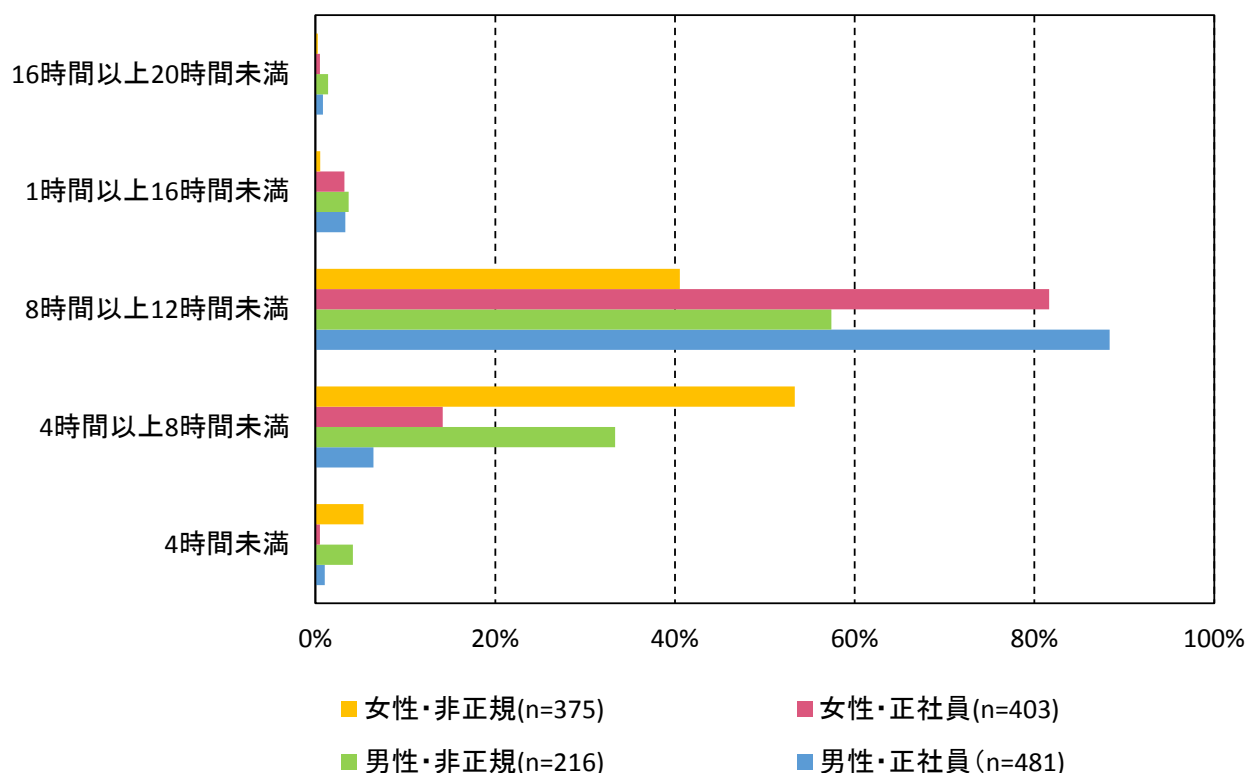


1.7 1日の労働時間

1日の労働時間は男女全体（n=1,865）では平均 7.7 時間。男性（n=935）が平均 8.1 時間に対して、女性（n=930）は 7.3 時間と女性の方が短い。

正規・非正規別にみると、正社員では男女ともに 8 時間以上 12 時間未満が 80%以上を占める。非正規をみると、男性では 8 時間以上 12 時間未満が 60%弱、次いで 4 時間以上 8 時間未満が 30%台と続くが、女性では 4 時間以上 8 時間未満が 50%台で第 1 位、次いで 8 時間以上 12 時間未満が 40%で、男性よりも女性の方が短時間勤務の割合が多い。

図表 7 1日の労働時間



1.8 現在の仕事の見つけ方

男女ともに1番多いのは、職安経由で全体の2割強を占める。次が新聞広告・チラシ、友人・知人の紹介と続く。年齢階層が高くなると友人・知人の紹介が増え、新聞広告は減少していく。インターネットの求人情報は年齢階層が若いほど利用の割合が高い。なお、男女間では大きな違いはみられなかった。

図表 8 現在の仕事の見つけ方(%)

		学校の紹介 で	友人・知人の 紹介で	親族・親せき の紹介で	公共職業安 定所(ハロー ワーク)・人材 あっせん会 社・人材派遣 会社などを 通じて	新聞広告・チ ラシや求人 情報誌などで	インターネッ トの求人情報 などで	自分が以前 勤めていたと ころの紹介で	その他
	n=								
TOTAL	1,873	7.8	14.8	8.8	22.7	15.9	9.8	6.8	13.4
男性40-44歳	349	11.7	9.7	14.0	22.1	11.5	13.5	6.6	10.9
男性45-49歳	244	8.2	13.1	8.2	20.5	20.5	9.4	4.9	15.2
男性50-54歳	203	8.4	13.3	10.3	18.7	16.7	5.4	7.4	19.7
男性55-59歳	145	4.8	21.4	5.5	19.3	9.7	7.6	6.9	24.8
女性40-44歳	380	6.8	10.3	8.9	25.0	19.7	13.2	7.6	8.4
女性45-49歳	247	5.7	19.0	4.0	29.6	17.4	8.9	6.1	9.3
女性50-54歳	177	6.8	18.6	7.9	25.4	14.7	7.9	6.2	12.4
女性55-59歳	128	7.8	27.3	7.0	14.8	11.7	3.9	9.4	18.0

1.9 現在の仕事の悩み（複数回答）

男女ともに1番多い悩み事は、「収入が少ない」で、ほぼ半数の回答者が該当している。次いで「特に不満はない」が20～30%で続く。男女で比較してみると、男性は「休暇が取れない」「労働時間が長い」が多く、女性は「雇用は不安定」が多い。「職場の人間関係」は男女全体では4番目だが、悩んでいる人の割合は全年齢階層において女性が男性を上回っている。

図表9 現在の仕事の悩み(%)

	n=	労働時間が長い	休暇がとれない、休暇が少ない	仕事が多い	収入が少ない	仕事がつまらない	雇用が不安定	社会保険に入れない	上司や同僚、部下などとの人間関係	職場が遠い	その他	特に不満はない
TOTAL	1,873	11.0	18.2	11.9	48.1	13.7	13.5	7.2	16.7	7.3	2.8	25.5
男性40-44歳	349	16.3	21.2	15.2	50.7	14.3	11.7	6.9	15.2	7.7	3.4	23.8
男性45-49歳	244	13.5	18.9	12.3	50.0	16.4	11.5	10.2	16.4	9.4	3.3	24.2
男性50-54歳	203	12.3	22.7	12.3	52.2	15.3	11.8	5.4	12.8	6.9	2.0	24.6
男性55-59歳	145	6.9	15.9	4.1	48.3	8.3	9.7	6.9	11.0	5.5	2.8	31.0
女性40-44歳	380	10.5	19.2	11.1	42.9	14.2	15.8	7.6	18.2	7.9	2.1	26.1
女性45-49歳	247	9.7	15.4	15.0	49.0	13.4	17.4	6.9	21.1	7.3	4.5	21.9
女性50-54歳	177	6.8	13.0	11.3	45.8	13.6	14.7	3.4	19.2	4.0	1.7	27.1
女性55-59歳	128	3.9	14.1	7.8	46.9	10.2	13.3	10.2	17.2	7.8	2.3	31.3

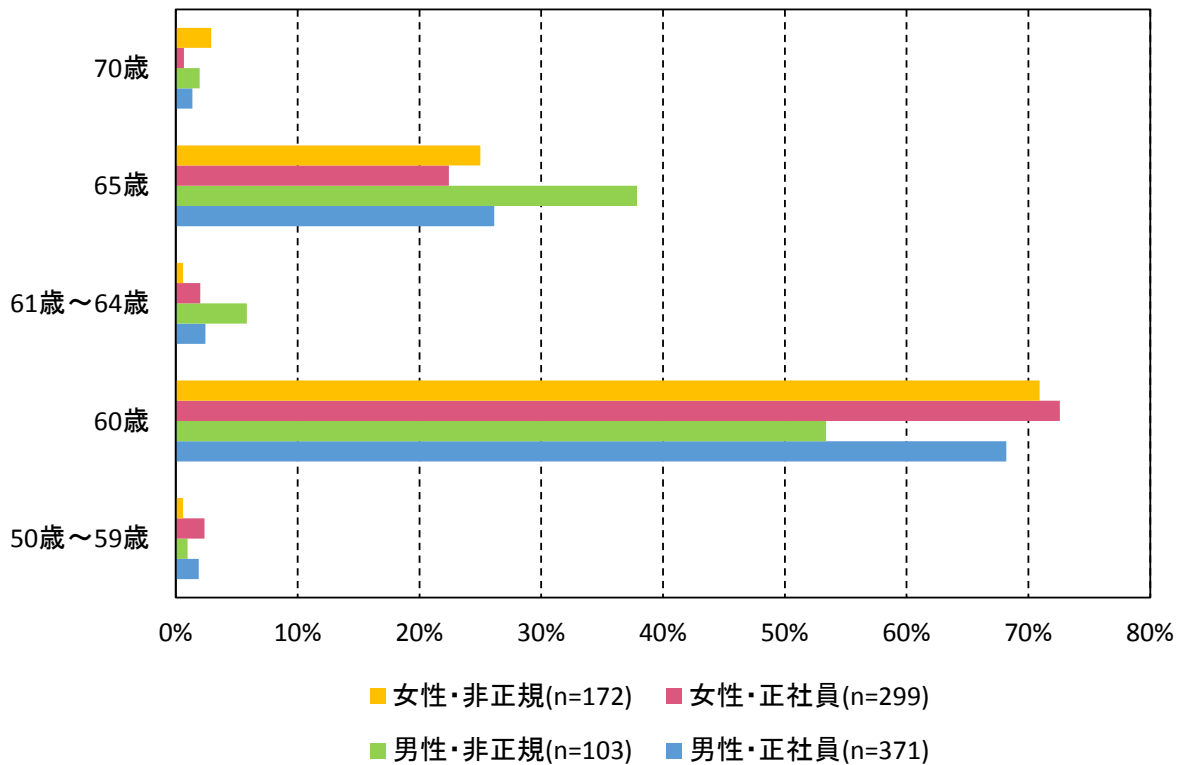
1.10 定年の有無とその年齢

6割以上の人に定年制がある。男性の方が女性よりも「定年がある」がやや多い。定年制がある場合、「60歳」がトップで男女全体の69%、次いで「65歳」が26%である。

図表10 定年の有無

	男女合計	男性	女性
定年がある	62.8%	65.9%	59.9%
定年がない	37.2%	34.1%	40.1%
全体	100.0%	100.0%	100.0%

図表 11 定年年齢の分布



1.11 今後の働き方

定年制がある場合、男女ともに、「定年よりも前に適当な仕事があれば転職したい」が1番多く、次いで「定年が過ぎても再雇用で現在の会社で仕事をしたい」が2番目に多い。3番目は「定年まで仕事を続け、その後は仕事に就かない」だが、男女ともに50代後半ではそれまでの10%台から25%に急増している。男性の50代後半では「定年より前に仕事をやめて、引退したい」の割合が、女性や他の年齢階層に比べて著しく低い水準にある。

図表 12 今後の働き方（定年がある人、%）

	n=	定年まで現在の仕事を継続し、その後は仕事には就かない	定年まで現在の仕事を継続し、定年が過ぎても再雇用等により現在の会社で仕事を続けたい	定年まで現在の仕事を継続し、定年後は別の仕事に就きたい	定年より前に適当な仕事があれば転職したい	定年より前に仕事をやめて、引退したい	その他
TOTAL	949	16.3	27.8	10.3	31.8	11.3	2.4
男性40-44歳	192	17.7	33.9	7.8	29.7	8.9	2.1
男性45-49歳	123	13.0	22.8	11.4	37.4	13.8	1.6
男性50-54歳	102	17.6	25.5	13.7	29.4	11.8	2.0
男性55-59歳	61	24.6	36.1	11.5	21.3	3.3	3.3
女性40-44歳	196	14.8	24.5	7.7	34.2	16.3	2.6
女性45-49歳	131	11.5	28.2	13.0	36.6	6.9	3.8
女性50-54歳	89	15.7	29.2	14.6	27.0	12.4	1.1
女性55-59歳	55	25.5	21.8	5.5	30.9	12.7	3.6

定年制がない場合や自営の人および無職の人の場合、男女ともに「現在の仕事を続けていきたい」が1番多く、4割近くに達する。50代後半では「今後も、仕事に就くつもりはない」が他の年齢階層に比べて多く、20%弱である。男性の40代では「現在の仕事をやめて、転職を考えている」が20%を超える一方で、40代後半以降では「今後も、仕事に就くつもりはない」が徐々に増えて、50代後半では20%にいたっている。女性では50代後半で「今後も、仕事に就くつもりはない」が22%で、他の年齢階層に比べてその割合が高い。

図表 13 今後の働き方（定年がない人や自営の人など、%）

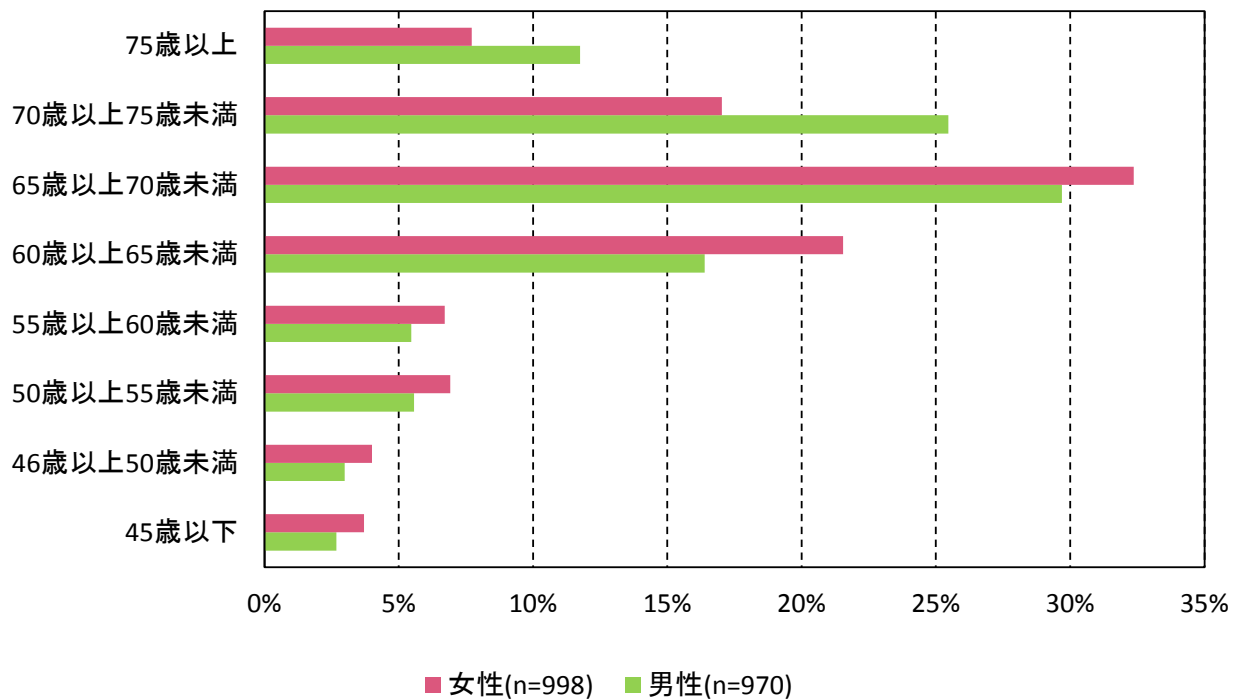
	n=	現在の仕事を続けていきたい	現在の仕事をやめて、転職を考えている	現在の仕事をやめて、引退したい	現在は仕事をしていないが、適当な仕事をさがしている	今後も、仕事に就くつもりはない	その他
TOTAL	1,326	43.0	16.8	7.0	16.6	10.9	5.7
男性40-44歳	202	43.1	21.3	9.4	13.4	6.4	6.4
男性45-49歳	173	38.2	24.9	6.4	15.6	11.0	4.0
男性50-54歳	140	48.6	17.9	5.7	12.9	12.9	2.1
男性55-59歳	143	37.8	9.1	10.5	18.9	18.9	4.9
女性40-44歳	247	47.8	17.4	5.7	15.8	6.9	6.5
女性45-49歳	171	39.8	16.4	6.4	21.6	8.8	7.0
女性50-54歳	124	46.8	14.5	5.6	17.7	8.1	7.3
女性55-59歳	126	40.5	7.9	6.3	18.3	19.8	7.1

1.12 退職意向年齢

何歳まで働き続けたいかについては、男女全体では平均63.7歳で、前出（1.11 今後の働き方）の定年年齢の平均61.4歳とは2年以上の差がある。男性の平均は64.7歳、女性は62.7歳と男性の方が2歳ほど長い。

分布をみると、男女ともに65歳以上70歳未満が1番多くて30%前後を占めている。第2位は男性が70歳以上75歳未満で26%、女性は60歳以上65歳未満で22%となっている。

図表 14 退職意向年齢



1.13 これまでの職歴

男女ともに1番多いのは「最初の仕事は現在と異なる」で54%を占めており、半数以上が離職・転職の経験をしていることがわかる。次いで「最初の仕事は現在と同じ」が28%だが、特に男性の40代が多い。なお、「現在は無職であるが、過去に仕事に就いていた」が17%であり、男女ともに特に50代後半で多く、27~28%を占めている。

図表 15 これまでの職歴(%)

	n=	最初の仕事は現在と同じ (従業上の地位(正規従業員かパートかなど)も同じ)	最初の仕事は現在と異なる (従業上の地位(正規従業員かパートかなど)が変わった場合も含む)	現在は無職であるが、過去に仕事に就いていた	今まで仕事に就いたことがない
TOTAL	2,275	28.4	53.9	16.5	1.1
男性40~44歳	394	36.5	52.0	10.9	0.5
男性45~49歳	296	30.4	52.0	15.5	2.0
男性50~54歳	242	27.3	56.6	15.7	0.4
男性55~59歳	204	20.6	50.5	27.5	1.5
女性40~44歳	443	28.9	56.9	13.3	0.9
女性45~49歳	302	23.5	58.3	17.2	1.0
女性50~54歳	213	27.7	55.4	16.0	0.9
女性55~59歳	181	25.4	45.3	26.5	2.8

1.14 離職経験がある人の初職における従業上の地位

離職経験がある人³の初職における従業上の地位は、男女ともに初職が「正社員」であったという回答が1番多く、75%。ただし、40代前半では、男女ともに他の年齢階層に比べて初職が「正社員」であった割合が相対的に低い。逆に初職が「非正規」であった割合は40代前半が1番多く、男性が26%、女性が30%弱を占める。なお、男女間で大きな違いはみられない。初職が「非正規」の中では「アルバイト」が多いが、40代前半では男女ともに「契約社員・嘱託」が他の年齢階層に比べて多い。

図表 16 初職における従業上の地位（離職経験のある人のみ、%）

	n=	経営者・役員	正社員	パート	アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	自営業	家族従業員	自由業	内職	その他
TOTAL	1,603	0.4	74.7	2.8	13.6	3.6	1.2	1.4	0.2	1.2	0.1	0.8
男性40-44歳	248	0.4	68.5	1.2	18.1	5.6	1.2	1.2	0.0	2.0	0.0	1.6
男性45-49歳	200	0.0	74.5	2.5	16.5	3.0	0.5	2.0	0.0	0.5	0.5	0.0
男性50-54歳	175	1.1	77.7	2.3	10.9	1.7	0.6	2.3	0.6	2.3	0.0	0.6
男性55-59歳	159	1.3	74.8	0.6	11.9	1.9	0.6	4.4	0.0	2.5	0.0	1.9
女性40-44歳	311	0.0	68.2	5.1	15.8	6.1	2.6	0.6	0.3	1.0	0.0	0.3
女性45-49歳	228	0.0	81.6	1.8	11.4	2.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
女性50-54歳	152	0.0	77.0	5.3	12.5	1.3	0.7	1.3	0.7	0.7	0.0	0.7
女性55-59歳	130	0.8	83.1	3.1	6.2	3.1	0.0	0.8	0.8	1.5	0.0	0.8

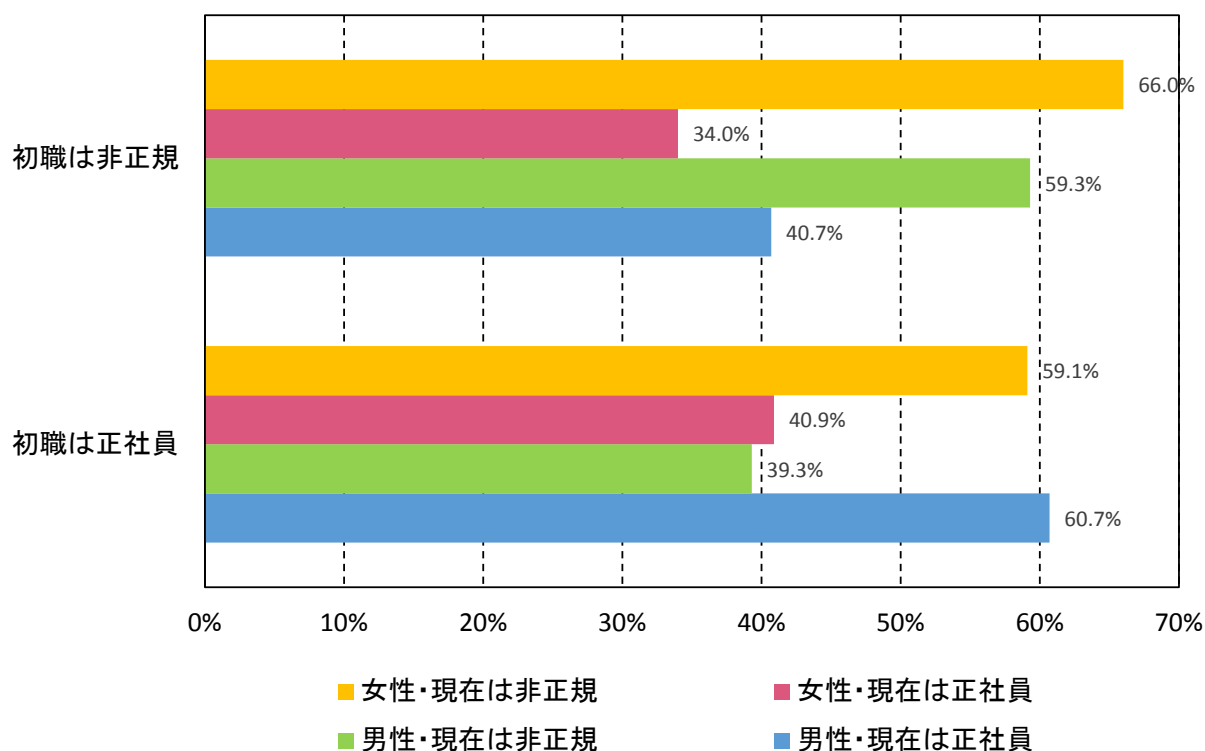
（注）有効回答率は男性が68.8%、女性が72.1%。

離職経験があり、初職が正社員あるいは非正規であった人が、現在、それぞれどのような従業上の地位にあるかをみたものが図表 17 である⁴。初職が正社員で、現在も正社員である割合は、男性60.7%に対して女性40.9%であり、20%ほど女性の方が低い。一方、現在、非正規である割合は男性39.3%に対して女性59.1%であり、いずれも男女間で対照的である。他方、初職が非正規である場合、現在も非正規である割合が男性59.3%に対して女性66.0%。一方、現在、正社員になっている割合は男性40.7%に対して女性34.0%である。初職が正社員である場合に比べると、男女間で大きな差はみられない。女性の場合、いったん離職すると、再就職は非正規にならざるを得ない状況がみてとれる。

³ 現在、就業が無職かは問わない。

⁴ 図表 17 には、①初職が正社員で離職せずに現在にいたっている、②初職が非正規で離職せずに現在にいたっている、③離職することなく非正規から正社員に転換した、④離職することなく正社員から非正規に転換した、の4つのパターンが対象者に含まれていない。

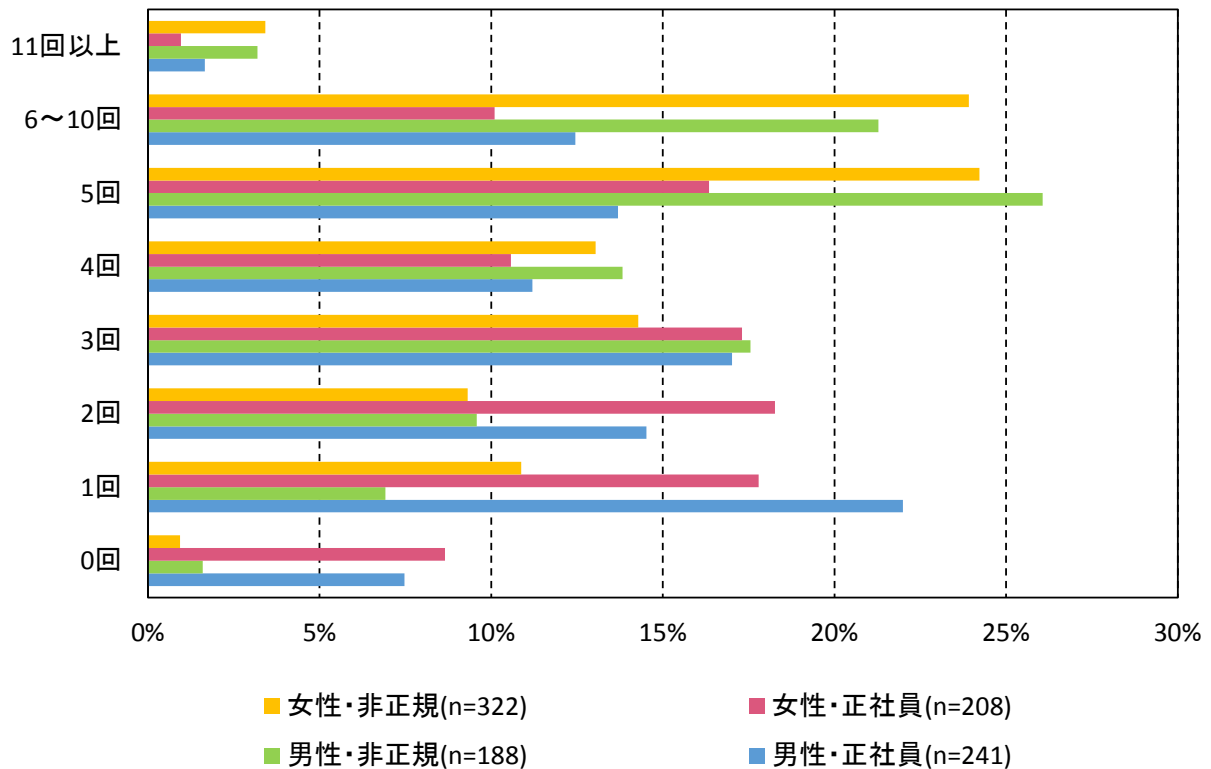
図表 17 離職経験があつて初職が正社員・非正規であった人の現在の地位(%)



1.15 転職の回数

転職の平均回数は男性が 3.8 回、女性が 4.2 回となっており、女性の方が幾分多い。男女ともに正社員は転職の回数は少ないが、非正規は転職回数 5 回(男性 26.1%、女性 24.2%)が最も多く、頻繁に転職していることがわかる。ただし、正社員でも男性は転職回数 1 回(22%)が最多だが、女性は 2 回(18.3%)がトップで、1 回(17.8%)が第 2 位、3 回(17.3%)が僅差で第 3 位となっている。

図表 18 転職の回数



1.16 (離職経験のある人の) これまでのキャリア

男女ともに1番多いのは「正社員」で過半数を占めるが、特に男性の50代、女性の50代後半は70～80%と非常に高い水準にある。逆に非正規は、男性の40代前半が30%弱、同後半が20%弱を占め、女性の40代から50代前半では30～40%と高水準となっている。非正規の内訳では「アルバイト」は男女ともに40代前半で10%超に、「派遣社員」は40代から50代前半で10%超となっている。

図表 19 これまでのキャリアのうち中心となった仕事（離職経験がある人のみ、%）

	n=	経営者・役員	正社員	パート	アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	自営業	家族従業員	自由業	内職	収入のない仕事	その他
TOTAL	1,603	1.2	63.0	5.6	7.2	6.4	7.7	4.7	1.0	2.0	0.2	0.4	0.5
男性40-44歳	248	1.2	60.1	1.6	11.7	8.1	7.7	6.0	1.2	1.2	0.0	0.4	0.8
男性45-49歳	200	0.5	68.5	2.0	8.5	3.0	6.0	9.0	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0
男性50-54歳	175	2.9	80.0	2.3	4.0	1.7	0.6	5.7	1.1	1.7	0.0	0.0	0.0
男性55-59歳	159	3.1	77.4	0.0	2.5	1.9	1.3	10.1	0.6	1.9	0.0	0.6	0.6
女性40-44歳	311	0.0	51.4	10.3	11.3	9.3	11.6	1.6	1.3	1.6	0.3	0.6	0.6
女性45-49歳	228	0.0	53.9	9.6	7.5	9.6	13.2	0.9	1.3	2.2	0.9	0.0	0.9
女性50-54歳	152	1.3	57.9	9.2	3.9	7.9	11.2	3.3	1.3	3.9	0.0	0.0	0.0
女性55-59歳	130	3.1	69.2	6.9	0.8	5.4	5.4	3.8	0.0	3.8	0.0	0.8	0.8

(注) キャリアの中心とは、今まで仕事をしてきた期間のうち、大半を占めるものを指す。

1.17 （現在無職の人の）現在、仕事についていない理由

全体で1番多いのは「希望する仕事に就けないから」で28.1%、次は「仕事をするには体がきついから」で27.9%。男性では「自分が仕事に就かなくても、生活できるから」が女性に比べて多く、20～30%。女性では「親などの介護など、家庭の都合で手が離せないから」が40代後半から50代前半で30%と男性に比べて多くなる。特に、50代後半の女性では40%超となり、仕事に就いていないことの1番の理由になっている。

図表 20 現在仕事についていない理由（現在無職の人のみ、%）

	n=	自分が仕事に就かなくても、生活できるから	事業の後継者ができたから	希望する仕事に就けないから	仕事をするには体がきついから	親などの介護など、家庭の都合で手が離せないから	その他
TOTAL	402	17.2	0.0	28.1	27.9	22.6	21.4
男性40-44歳	45	17.8	0.0	37.8	37.8	17.8	15.6
男性45-49歳	52	23.1	0.0	26.9	17.3	9.6	34.6
男性50-54歳	39	30.8	0.0	28.2	20.5	7.7	25.6
男性55-59歳	59	20.3	0.0	23.7	27.1	20.3	20.3
女性40-44歳	63	11.1	0.0	31.7	27.0	22.2	25.4
女性45-49歳	55	7.3	0.0	32.7	29.1	29.1	21.8
女性50-54歳	36	13.9	0.0	36.1	36.1	30.6	8.3
女性55-59歳	53	17.0	0.0	11.3	30.2	41.5	15.1

2 家族・家計について

2.1 世帯人数

本人のみの独居が男女・年齢階層を問わず、1番多く、全体では40%を占める。2番目は「本人を除いて2人」（3人暮らし）が男女ともに40代で30%前後を占める。50代では男女ともに「本人を除いて1人」（2人暮らし）が「本人を除いて2人」（3人暮らし）の割合を上回るようになる。2.2で後述するように、両親と同居して3人で暮らしていたのが、時の経過とともに片親が亡くなって2人暮らしになるためである。

男女間で比較すると、女性の方が男性に比べて同居している割合が幾分多い。

図表 21 世帯人数(%)

	n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上
TOTAL	2,275	40.1	20.3	25.9	10.4	2.4	0.5	0.2	0.2	0.1
男性40-44歳	394	37.3	15.5	28.7	14.5	3.8	0.3	0.0	0.0	0.0
男性45-49歳	296	43.9	15.2	28.4	9.1	3.0	0.3	0.0	0.0	0.0
男性50-54歳	242	47.9	26.9	18.2	5.0	1.2	0.8	0.0	0.0	0.0
男性55-59歳	204	51.0	27.0	17.6	2.9	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5
女性40-44歳	443	33.4	14.7	31.4	15.6	2.9	0.9	0.9	0.0	0.2
女性45-49歳	302	34.4	21.9	29.1	11.3	2.3	0.3	0.0	0.7	0.0
女性50-54歳	213	38.0	26.8	22.5	9.4	1.9	0.5	0.0	0.5	0.5
女性55-59歳	181	45.3	26.0	20.4	6.6	1.1	0.0	0.0	0.6	0.0

2.2 (同居人がいる人のみ) 同居者の内訳

1 番多い同居者は「母親」で、男女・各年齢階層にわたって 80～90% 台半ばと高水準。
2 番目に多い同居者は「父親」。全体では 56% だが、50 代では 30% 台後半～40% 強まで急減する。

図表 22 同居人（同居人がいる人のみ、%）

	n=	父親	母親	兄	弟	姉	妹	祖父	祖母	その他親族	友人	その他
TOTAL	1,363	55.5	87.8	6.0	8.6	5.8	7.4	0.1	0.7	2.8	0.5	1.8
男性40-44歳	247	68.0	89.5	6.1	10.1	4.9	4.9	0.4	1.6	2.4	0.4	1.2
男性45-49歳	166	59.6	94.0	6.6	7.2	5.4	5.4	0.0	0.0	1.8	0.0	1.2
男性50-54歳	126	38.9	83.3	4.8	8.7	5.6	7.1	0.0	0.0	6.3	0.0	0.8
男性55-59歳	100	35.0	81.0	4.0	6.0	4.0	9.0	0.0	0.0	3.0	0.0	2.0
女性40-44歳	295	68.5	91.2	5.8	10.2	7.1	7.8	0.0	1.4	3.1	0.7	2.7
女性45-49歳	198	54.5	89.4	4.0	9.6	6.1	8.6	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0
女性50-54歳	132	41.7	80.3	11.4	6.8	6.1	9.1	0.0	0.0	3.8	1.5	3.0
女性55-59歳	99	40.4	82.8	6.1	5.1	6.1	10.1	0.0	0.0	2.0	0.0	3.0

2.3 世帯の中における生計維持の中心者

全体では「本人」の回答が最多であり、僅少差で「父親」が次ぐ。第3位は「母親」という順番。男性では「本人」がいずれの年齢階層でも第1位だが、女性では「父親」がいずれの年齢階層でも第1位。女性では「母親」という回答割合が、男性に比べて5ポイントから10ポイント程度高い。

図表 23 世帯の中における生計維持の中心者(%)

	n=	あなた自身	父親	母親	兄	弟	姉	妹	祖父	祖母	その他親族	友人	その他
TOTAL	1,363	38.2	37.3	19.0	1.8	1.2	1.2	0.5	0.0	0.0	0.6	0.2	0.0
男性40-44歳	247	42.9	38.5	13.0	2.0	1.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
男性45-49歳	166	47.0	31.3	17.5	0.6	0.6	1.2	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
男性50-54歳	126	61.1	19.8	13.5	3.2	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
男性55-59歳	100	66.0	13.0	19.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性40-44歳	295	23.7	53.6	19.3	1.7	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性45-49歳	198	23.7	44.4	23.7	0.0	2.5	2.5	2.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0
女性50-54歳	132	33.3	34.1	22.7	3.8	0.8	2.3	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.0
女性55-59歳	99	32.3	32.3	28.3	4.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2.4 世帯全体の年間収入額

全体で1番多いのは「200万円以上 300万円未満」。次いで「300万円以上 400万円未満」「100万円以上 200万円未満」と続く。男性の方が女性に比べて、より高い所得層へ広がっている。男女ともに50代後半の年齢階層になると、他の年齢階層に比べて所得の分布が下方へシフトしている。

図表 24 世帯全体の年間収入額の分布(%)

	n=	なし	100万円未満	100万円以上 200万円未満	200万円以上 300万円未満	300万円以上 400万円未満	400万円以上 500万円未満	500万円以上 600万円未満	600万円以上 800万円未満	800万円以上 1,000万円未 満	1,000万円以 上1,500万円 未満	1,500万円 以上
TOTAL	2,275	5.0	7.7	13.4	19.3	14.9	10.2	9.3	11.7	4.4	2.9	1.2
男性40-44歳	394	5.1	4.3	8.1	17.8	15.7	15.2	11.9	13.5	4.8	1.8	1.8
男性45-49歳	296	4.4	8.1	15.5	15.5	13.5	9.5	12.2	14.2	3.4	2.4	1.4
男性50-54歳	242	5.0	8.3	15.3	15.7	15.7	9.1	8.3	14.5	4.5	2.9	0.8
男性55-59歳	204	7.8	10.8	20.6	16.2	10.8	9.8	7.8	9.3	2.9	3.4	0.5
女性40-44歳	443	4.5	8.4	14.0	19.4	13.5	9.5	10.4	11.1	4.5	3.4	1.4
女性45-49歳	302	4.3	7.9	10.9	24.2	16.9	8.9	6.3	11.3	5.0	3.3	1.0
女性50-54歳	213	5.6	6.6	11.7	21.6	17.4	7.5	8.9	10.8	5.6	3.3	0.9
女性55-59歳	181	3.9	9.4	14.9	26.0	16.0	9.4	5.0	6.6	3.9	3.3	1.7

2.5 世帯の収入源

全体では「自分の仕事の収入」が8割弱で第1位、次いで「親の年金収入」が40%強、「同居人の仕事の収入」が17%。「同居人の仕事の収入」は40代前半で高い結果になった。親の年齢が相対的に若く、就業しているためであろう。

図表 25 世帯の収入源(%)

	n=	自分の仕事 の収入	仕事以外の 収入(アフィ リエイト、ネッ トオークション 等)	同居の方 の仕事の収入	親の年金収 入	祖父母の年 金収入	不動産収入	生活保護	その他	特にな
TOTAL	2,275	77.1	9.3	16.7	42.3	0.4	4.7	1.5	3.6	4.6
男性40-44歳	394	85.0	8.1	23.4	43.1	1.3	2.8	1.3	1.5	2.5
男性45-49歳	296	78.0	9.5	13.2	38.9	0.0	4.4	3.0	4.1	4.4
男性50-54歳	242	80.6	10.7	8.7	36.4	0.0	5.0	2.5	4.5	5.4
男性55-59歳	204	68.6	12.7	6.9	33.8	0.0	6.9	3.4	5.4	8.8
女性40-44歳	443	77.2	7.4	23.7	44.5	0.2	4.5	1.1	2.9	3.8
女性45-49歳	302	75.2	8.6	18.5	49.3	1.0	5.3	0.3	2.0	3.6
女性50-54歳	213	78.4	8.9	17.8	44.1	0.0	3.3	0.0	4.2	5.6
女性55-59歳	181	64.6	11.6	8.8	44.8	0.0	7.2	1.1	8.3	6.1

2.6 本人の仕事の収入

仕事からの収入は平均275万円(n=2,275)。男性(n=1,136)の平均309万円に対して、女性(n=1,087)は平均242万円。70万円弱、女性の方が男性よりも低い。なお、年齢が高くなるほど収入が増えるわけではない。

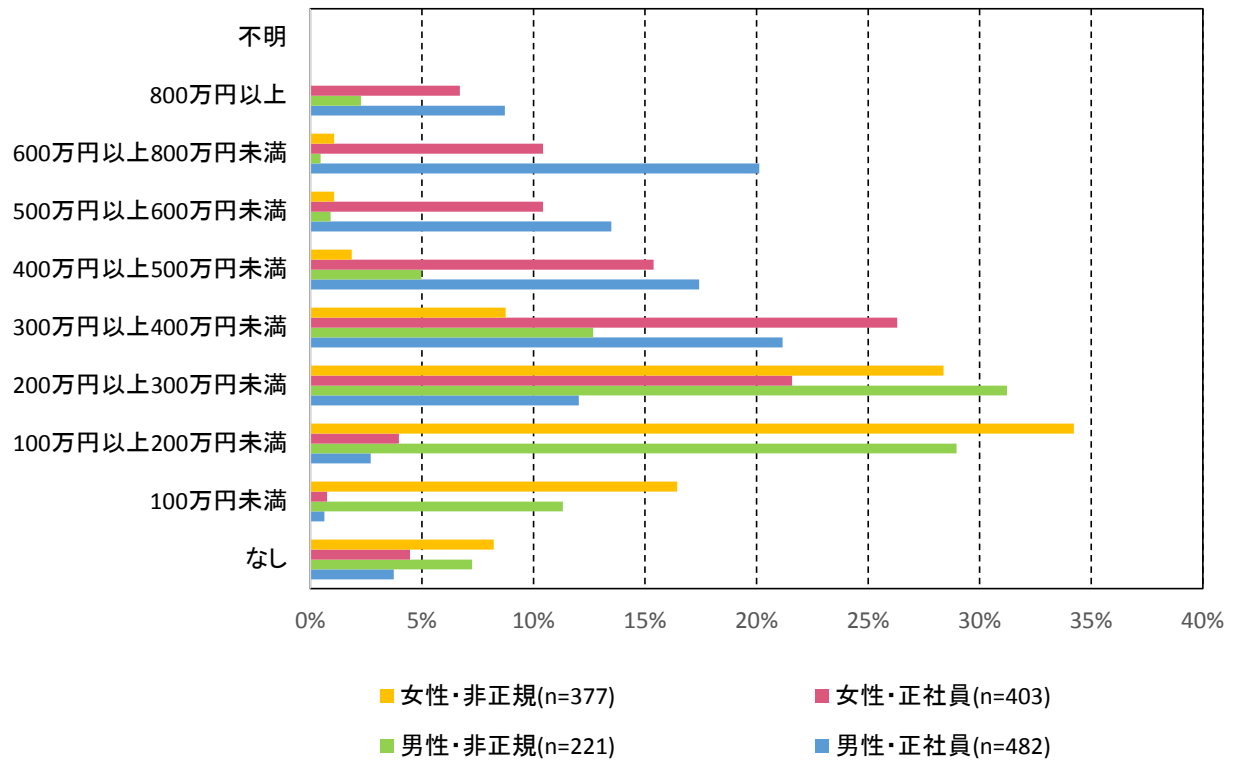
仕事からの収入の中央値は男女計で240万円。男性280万円、女性200万円である。

男性・正社員は「300万円以上400万円未満」がトップ(21.2%)で、僅差で「600万円以上800万円未満」が第2位(20.1%)。女性・正社員は「300万円以上400万円未満」がトップ(26.3%)、次いで「200万円以上300万円未満」と続く(21.6%)。

男性非正規は「200万円以上300万円未満」がトップ(31.2%)で、次いで「100万円以上200万円未満」(29.0%)。女性非正規の第1位は「100万円以上200万円未満」(34.2%)、次いで「200万円以上300万円未満」(28.4%)であった。

正社員と非正規社員との収入の格差が明瞭である。

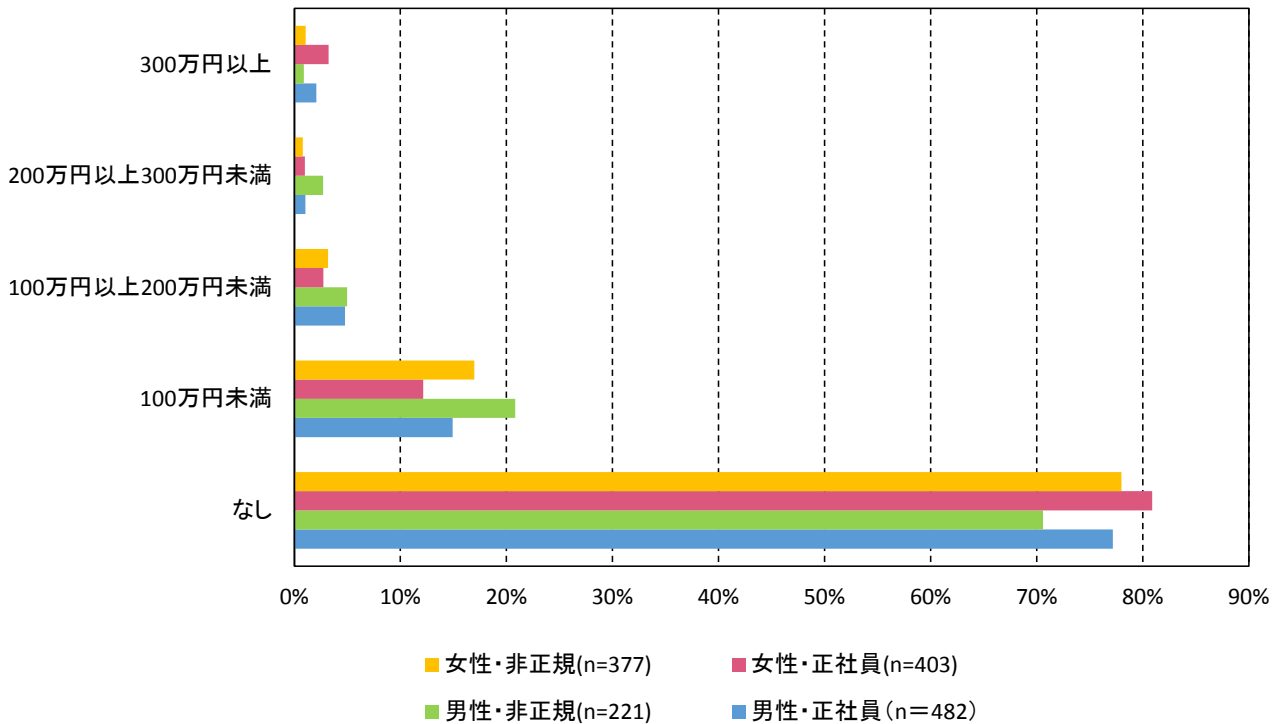
図表 26 本人の仕事の収入



2.7 本人の仕事以外からの収入

仕事以外からの年間収入は男女平均で 27 万円 (n=2,275)。男性の平均が 33 万円 (n=1,136)、女性の平均が 22 万円 (n=1,139) であり、男性の方が 10 万円程度多い。全体の 7 割以上は、仕事以外の収入はないと回答している。

図表 27 本人の仕事以外からの収入



2.8 年金の加入状況

男女全体では「厚生年金に加入」が 40%、次いで「国民年金の保険料を全額払っている」が 37.2%、「国民年金保険料の納付免除を受けている」が 14.4%、「個人年金保険に加入」が 13.5%の順である。「企業年金に加入」は 8.2%、「国民年金の保険料を払っていない」が 8.1%と、加入や支払いに関してかなりの格差がみられる。

「厚生年金に加入」は男女ともに 50 代後半で加入割合が他の年齢階層に比べて低くなっている。一方で、「国民年金基金に加入」は男性の 50 代後半で加入割合が高い。

図表 28 年金の加入状況(%)

	n=	保険料を全額払っている	免除を受けている(一部免除を含む)	保険料を払っていない	厚生年金(会社員、公務員等の勤め人)	企業年金(厚生年金基金、確定給付企業年金、確定拠出年金企業型)	国民年金基金	確定拠出年金個人型(401K)	個人年金保険
TOTAL	2,275	37.2	14.4	8.1	40.2	8.2	6.0	2.3	13.5
男性40-44歳	394	33.5	10.4	8.1	48.0	9.1	6.6	2.8	11.7
男性45-49歳	296	37.5	14.2	12.8	35.5	9.1	5.7	2.7	13.5
男性50-54歳	242	37.6	17.4	9.5	35.5	7.9	4.1	4.1	15.3
男性55-59歳	204	46.6	19.1	9.8	24.5	9.8	10.3	2.5	13.7
女性40-44歳	443	36.6	14.0	5.2	44.2	7.7	5.4	1.6	11.7
女性45-49歳	302	34.4	15.2	5.0	45.4	7.6	5.3	1.3	14.2
女性50-54歳	213	33.8	12.7	7.5	46.0	6.6	5.6	1.9	13.6
女性55-59歳	181	44.2	16.0	9.9	29.8	7.7	6.1	2.2	17.7

2.9 社会保険の加入状況

国民健康保険の加入割合が 55.5%と最も高く、次いで健康保険・共済組合（本人）が 40.8%。雇用保険は 30.9%の加入率（雇用保険低加入率の理由は不明）。男女ともに 50 代後半では他の年齢階層に比べて健康保険・共済組合の加入割合が低い一方で、国民健康保険の加入割合が高くなっている。雇用保険も同様な状況で、企業への勤めを辞めて、無職あるいは自営等に移っているとみられる。

図表 29 社会保険の加入状況(%)

	n=	国民健康保険	健康保険・共済組合(本人)	健康保険・共済組合(被扶養者)	国民健康保険料を滞納中	雇用保険
TOTAL	2,275	55.5	40.8	2.0	1.7	30.9
男性40-44歳	394	49.2	47.0	2.3	1.5	31.7
男性45-49歳	296	58.8	36.8	1.4	3.0	27.7
男性50-54歳	242	59.1	38.8	0.4	1.7	31.4
男性55-59歳	204	65.7	29.4	1.0	3.9	25.5
女性40-44歳	443	49.0	46.5	3.8	0.7	34.8
女性45-49歳	302	54.0	42.7	2.0	1.3	33.4
女性50-54歳	213	55.9	40.8	1.9	1.4	34.3
女性55-59歳	181	65.2	32.0	1.7	1.1	22.7

2.10 世帯の生活費（月額）

「10 万円未満」が 25.8%で 1 番多く、次いで「10 万円以上 15 万円未満」が 24.6%、「15 万円以上 20 万円未満」が 14.4%。男性の 40 代前半と女性の 40 代および 50 代後半は「10 万円以上 15 万円未満」が第 1 位で、次が「10 万円未満」となっている。「15 万円以上 20 万円未満」の回答は、男性の 40 代後半と 50 代前半、女性の 50 代後半で、他の年齢階層に比べて高くなっている。女性に比べて男性の方が高額帯により多く分布が広がっている。

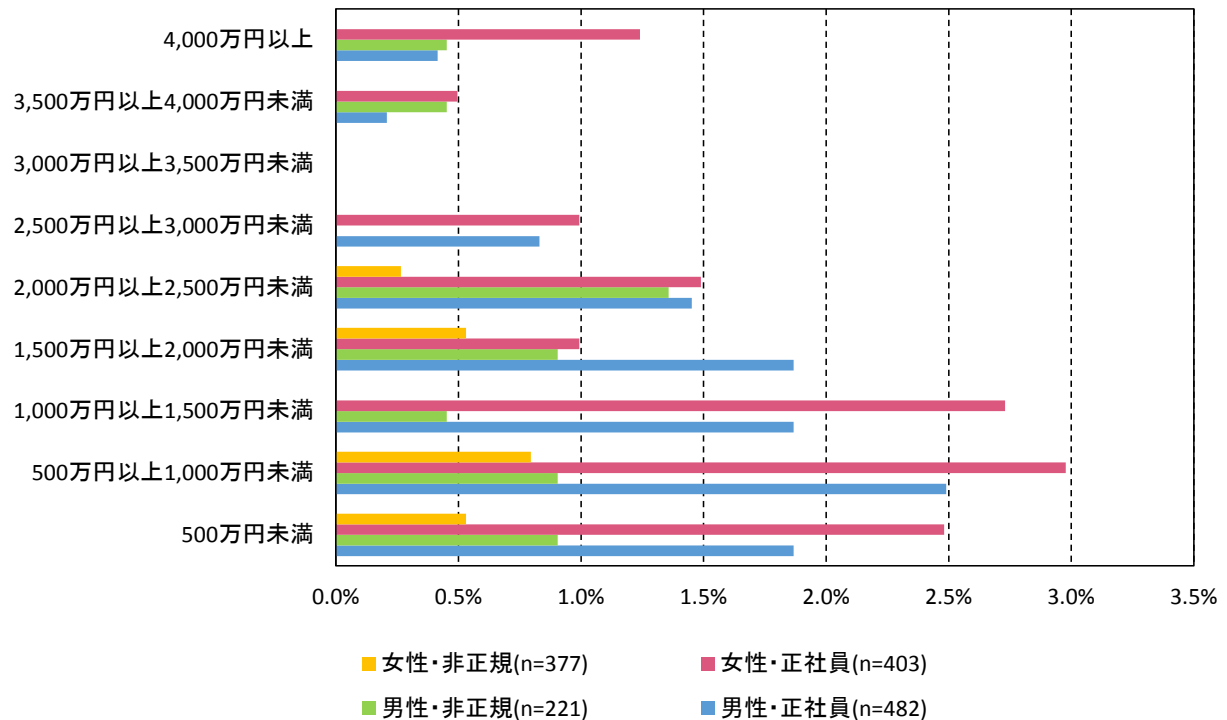
図表 30 世帯の 1 ヶ月あたりの生活費(%)

	n=	10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 25万円未満	25万円以上 30万円未満	30万円以上 35万円未満	35万円以上 40万円未満	40万円以上 45万円未満	45万円以上 50万円未満	50万円以上	わからない
TOTAL	2,275	25.8	24.6	14.4	7.5	3.7	1.2	0.8	0.1	0.2	0.1	21.6
男性40-44歳	394	22.3	26.9	14.5	8.6	2.5	0.5	0.5	0.0	0.3	0.3	23.6
男性45-49歳	296	27.4	20.6	16.6	7.1	3.7	1.0	1.4	0.3	0.7	0.3	20.9
男性50-54歳	242	29.8	26.9	16.5	8.3	4.1	1.7	2.1	0.4	0.0	0.0	10.3
男性55-59歳	204	34.3	24.5	13.7	7.8	4.9	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	11.8
女性40-44歳	443	22.8	24.6	12.9	7.4	2.5	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0	28.7
女性45-49歳	302	24.2	27.2	11.6	5.6	5.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.3	24.5
女性50-54歳	213	29.1	21.1	12.7	6.1	4.2	2.8	0.0	0.5	0.0	0.0	23.5
女性55-59歳	181	21.5	22.7	19.3	9.4	3.9	2.2	0.6	0.0	0.6	0.0	19.9

2.11 住宅ローン残高と毎月の返済額

住宅ローン保有率は回答者全体の 7%。男性は 7.7%、女性は 6.5%で、男性の方が保有率は高い。住宅ローンの平均残高は 1,400 万円、毎月の返済額は平均 8 万円。

図表 31 住宅ローン残高

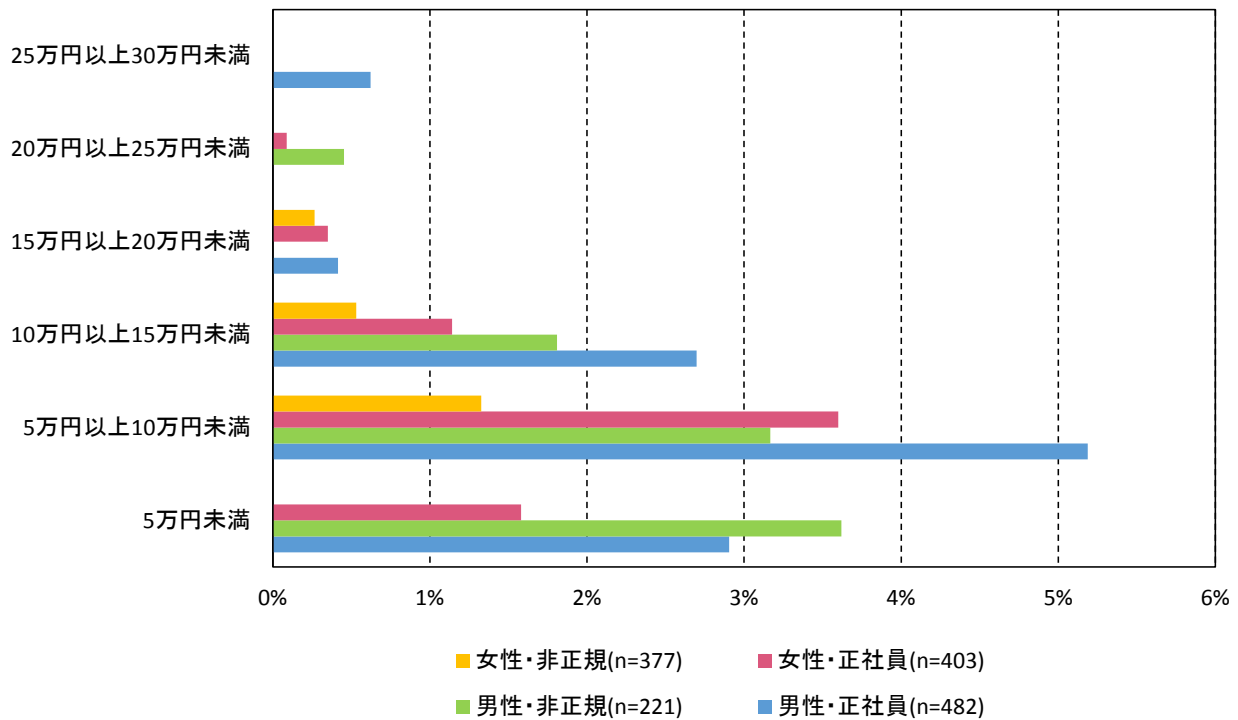


(注) 住宅ローン保有者のみを記載し、非保有者は省略。

2.12 住宅ローン以外のローン残高と毎月の返済額

住宅ローン以外のローンの保有率は男女全体では 9.8%だが、男性が 13.7%、女性が 5.8%と、男性の方が女性に比べてかなり高い。平均残高は 236 万円、毎月の返済額は 5 万円弱。

図表 32 住宅ローン以外のローン残高



(注) ローン保有者のみを記載し、非保有者は省略。

2.13 老後のための資産形成手段

「預貯金」が全体の 66.5%、「生命保険・簡易保険」が 38%、「株式」が 15.1%。一方、「何もしていない」は 24.5%。男性の 40 代後半と 50 代前半で「何もしていない」が 30% 超と他の年齢階層を大きく上回っている。逆に、女性の 50 代では「何もしていない」は 15% 前後と低くなり、「預貯金」や「生命保険・簡易保険」が相対的に高い水準にある。「株式」の割合は 50 代後半の男女とも他の年齢階層に比べて高くなっている。

図表 33 老後のための資産形成(%)

	n=	預貯金	生命保険・簡易保険	火災保険	地震保険	個人年金保険	株式	債券	財形貯蓄	外貨預金	その他	何もしていない
TOTAL	2,275	66.5	38.0	13.9	8.9	13.5	15.1	4.5	4.7	5.4	1.8	24.5
男性40-44歳	394	67.5	30.7	9.9	7.4	11.7	18.5	2.0	3.8	4.8	0.8	24.4
男性45-49歳	296	58.4	29.1	10.5	4.7	13.5	15.9	5.4	4.4	6.1	1.7	32.8
男性50-54歳	242	57.9	33.9	16.5	10.7	15.3	15.7	3.7	3.3	4.5	2.5	32.2
男性55-59歳	204	66.2	37.7	17.6	13.7	13.7	26.0	7.4	4.4	5.9	2.5	26.5
女性40-44歳	443	67.9	39.1	9.7	6.8	11.7	9.3	4.3	5.9	6.1	1.4	21.7
女性45-49歳	302	65.9	39.1	12.6	9.3	14.2	9.9	3.0	4.0	4.3	1.0	25.2
女性50-54歳	213	75.1	51.6	21.1	11.7	13.6	10.3	5.6	6.1	3.8	1.9	14.6
女性55-59歳	181	76.2	53.6	24.3	12.7	17.7	21.5	7.7	5.5	8.3	4.4	16.6

2.14 現在保有している金融資産額

男女全体（n=1,091）の金融資産残高⁵は平均 1,213 万円。男性（n=564）は平均 1,305 万円、女性（n=900）は 1,114 万円で、男性の方が女性よりも 200 万円弱多い。中央値は男女合計、男性、女性いずれも 500 万円。年齢階層別では男女ともに平均値、中央値ともに 50 代後半で急増する。

図表 34 現在保有している金融資産額

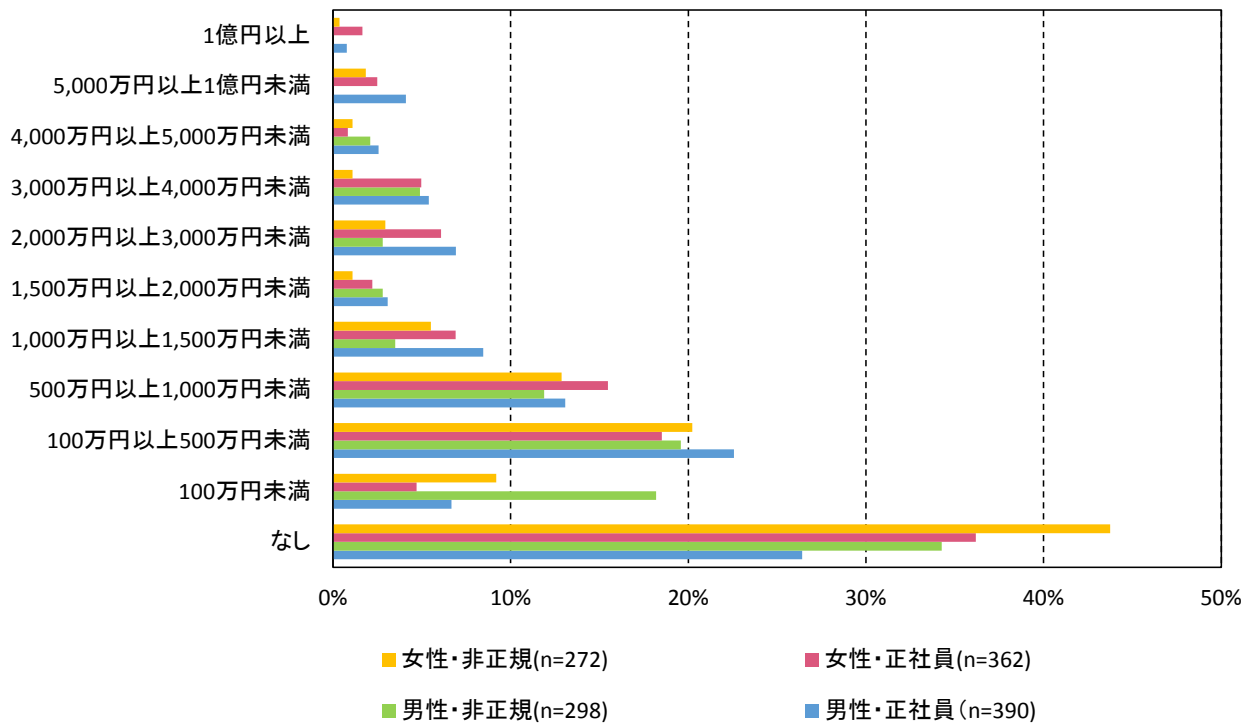
	回答者数 (人)	平均値 (万円)	中央値 (万円)
男女合計	1,091	1,213	500
男性	564	1,305	500
40～44歳	208	867	450
45～49歳	130	1,254	700
50～54歳	113	1,521	500
55～59歳	113	1,952	1,400
女性	527	1,114	500
40～44歳	191	816	350
45～49歳	135	933	500
50～54歳	104	1,159	500
55～59歳	97	1,905	1,000

（注）回答率は 75%。回答のうちゼロは除く。

図表 35 で保有している金融資産額の分布をみると、男性の 3 割、女性の 4 割が金融資産を保有していないと回答している。特に女性の非正規でその割合が高い。次いで多いのが「100 万円以上 500 万円未満」である。

⁵ 金融資産ゼロの回答者を除く。

図表 35 現在保有している金融資産額の分布



(注) 回答率は 75%。

2.15 家計簿について

男性は各年齢階層を通じて「関心がない」が過半数を占める。女性は、男性に比べて「つけている」「つけようと思うが実行できていない」の割合が多い。特に 50 代後半の女性では「つけている」が 36.5%と他の選択肢を上回って高水準になっている。

図表 36 家計簿について(%)

	n=	つけている	つけようと思うが実行できていない	関心がない
TOTAL	2,275	26.8	26.0	47.2
男性40-44歳	394	21.3	27.4	51.3
男性45-49歳	296	18.9	19.3	61.8
男性50-54歳	242	22.7	21.9	55.4
男性55-59歳	204	23.5	23.0	53.4
女性40-44歳	443	29.8	29.8	40.4
女性45-49歳	302	33.8	25.8	40.4
女性50-54歳	213	31.5	28.6	39.9
女性55-59歳	181	36.5	30.9	32.6

3 住まいについて

3.1 現在の住まい

全体では「親の持ち家」が 1 番多く、38.8%。次いで「賃貸住宅」32%、「自分の持ち家」23.6%となっている。「親の持家」は男女ともに 40 代で、女性ではさらに 50 代前半で

も第1位。男性の50代および女性の50代後半では、「自分の持ち家」が第1位に入れ替わる。「賃貸住宅」は年齢階層が高くなるにつれて構成比割合が低下傾向をたどる。

図表 37 現在の住まい(%)

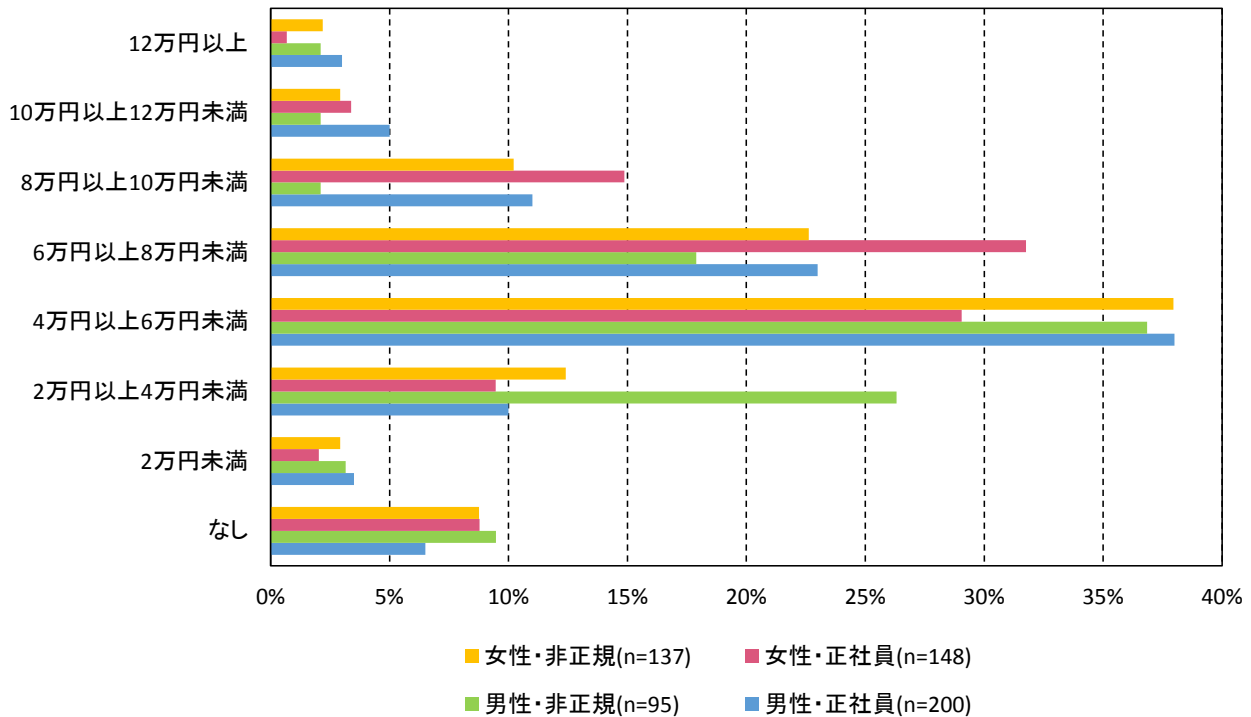
	n=	自分の持ち家	親の持ち家	その他親族の持ち家	親族以外(友人など)の持ち家	賃貸住宅(民間・公団・公社)	社宅	公営住宅・公的施設	その他
TOTAL	2,275	23.6	38.8	2.3	0.3	32.0	0.7	1.8	0.4
男性40-44歳	394	16.5	40.6	1.0	0.5	36.8	1.5	2.5	0.5
男性45-49歳	296	23.3	38.5	1.7	0.0	33.8	1.4	1.0	0.3
男性50-54歳	242	36.0	24.8	2.1	0.4	32.6	0.4	2.5	1.2
男性55-59歳	204	45.1	23.0	1.5	0.0	26.5	1.0	2.9	0.0
女性40-44歳	443	12.0	49.2	1.4	0.0	36.1	0.7	0.7	0.0
女性45-49歳	302	16.6	46.4	2.0	0.7	32.1	0.3	2.0	0.0
女性50-54歳	213	27.7	38.5	5.2	0.5	25.4	0.0	2.3	0.5
女性55-59歳	181	34.8	33.7	6.6	0.0	21.5	0.0	1.7	1.7

3.2 現在の家賃

現在の家賃（月額）の平均は5万2,000円。男性の平均が5万1,000円に対して女性は5万3,000円と、女性の方が男性よりも2,000円高い。

男性（正社員および非正規）と女性非正規の最頻値は「4万円以上6万円未満」だが、女性正社員だけは「6万円以上8万円未満」と高い家賃になっている。男性正社員と女性非正規の2番目に多いのは「6万円以上8万円未満」であるが、男性非正規は「2万円以上4万円未満」と割安な貸家に入居している。

図表 38 現在の家賃

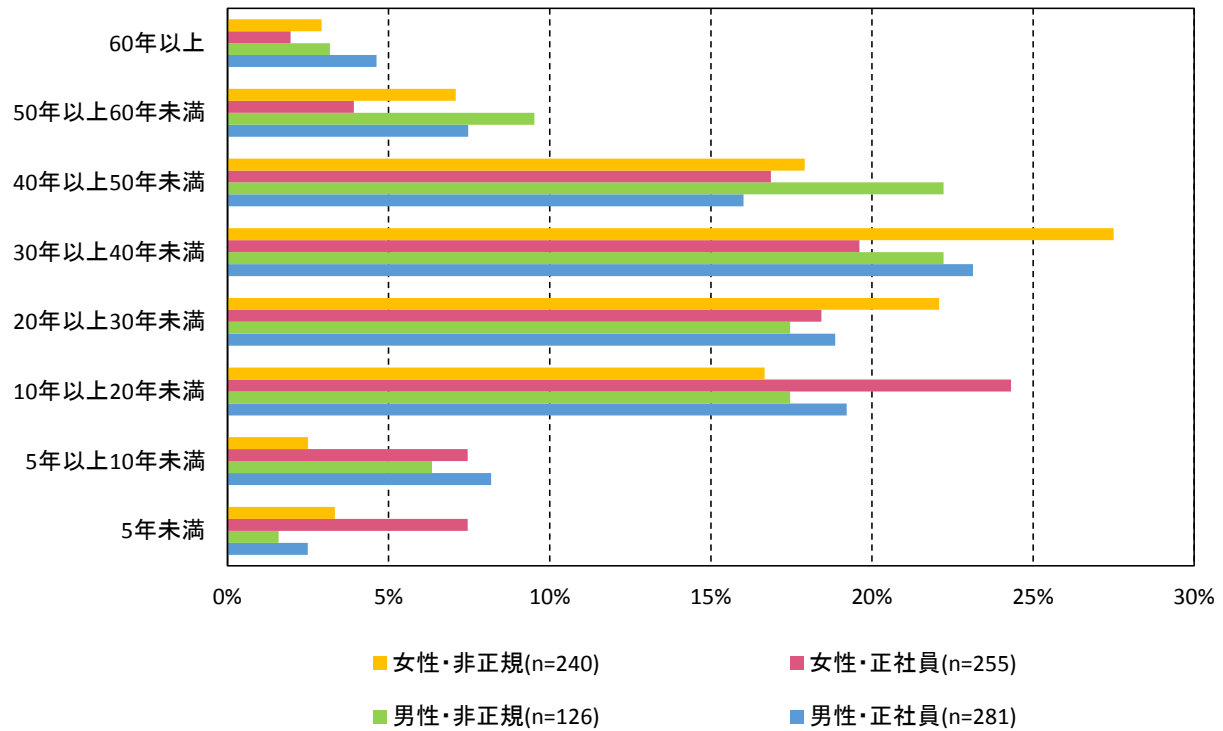


3.3 持ち家の築年数

持ち家の築年数の平均は 30 年。男性の平均が 31 年、女性では 29 年。男性（正社員および非正規）と女性非正規の最頻値は「30 年以上 40 年未満」⁶だが、女性正社員だけは「10 年以上 20 年未満」と年数が低くなっている。

⁶ 男性非正規の最頻値は「30 年以上 40 年未満」と「40 年以上 50 年未満」で同水準。

図表 39 持ち家の築年数



3.4 老後の住まい

「現在の住まいに住み続ける」が61.8%であり、非常に高く、第1位。「将来、持ち家を自分で購入するつもりである」と回答した人は男性の40代が多い。「親族から持ち家を相続する見込みである」と回答した人は男女ともに50代後半で大きく減少。「将来、恋人あるいは結婚して配偶者の家に同居するつもりである」と回答した人は女性の40代が他の年齢階層や男性に比べて多い。「自立型住まいに移り住むつもりである」と回答した人は女性の50代で他の年齢階層や男性に比べて多い。「賃貸住宅に移り住むつもりである」と回答した人は全体で9.6%と第2位を占める。

図表 40 老後の住まい(%)

	n=	現在の住まいにそのまま住み続ける	将来、持ち家を自分で購入するつもりである	親族から持ち家を相続する見込みである	親族の家に同居するつもりである	将来、恋人あるいは結婚して配偶者の家に同居するつもりである	賃貸住宅(コレクティブハウス(*)などを含む)に移り住むつもりである	自立型住まい(終身利用の有料老人ホームなど)に移り住むつもりである	その他
TOTAL	2,275	61.8	9.2	5.4	1.8	3.2	9.6	3.0	5.8
男性40-44歳	394	55.1	19.3	4.6	1.3	0.8	12.2	2.5	4.3
男性45-49歳	296	61.5	12.5	6.1	1.4	0.3	8.4	2.4	7.4
男性50-54歳	242	69.0	6.6	5.4	2.1	0.8	10.3	2.5	3.3
男性55-59歳	204	73.0	7.4	3.9	0.0	0.0	7.4	2.5	5.9
女性40-44歳	443	56.0	6.1	6.8	2.0	9.7	9.3	2.5	7.7
女性45-49歳	302	61.9	6.3	6.3	3.0	5.6	9.9	2.3	4.6
女性50-54歳	213	59.6	6.6	5.6	2.8	2.3	9.9	6.1	7.0
女性55-59歳	181	71.8	3.3	2.8	1.7	1.1	7.7	5.5	6.1

3.5 老後の同居意向

「1人で暮らすつもりである」と回答した人は46.2%で高水準の第1位。年齢階層が高くなるにつれて、回答割合は増加傾向。「親と暮らすつもりである」と回答した人は15.7%で第3位。年齢階層が高くなるにつれて、回答割合は減少傾向。「将来、恋人あるいは結婚して配偶者と暮らすつもりである」と回答した人は年齢階層が高くなるにつれて、回答割合は減少傾向。逆に特に女性では「兄弟姉妹と暮らすつもりである」と回答した人は年齢階層が高くなるにつれて増加傾向。「わからない」と回答した人は21.7%と第2位。

図表 41 老後の同居意向(%)

	n=	1人で暮らすつもりである	親と暮らすつもりである	兄弟姉妹と暮らすつもりである	将来、恋人あるいは結婚して配偶者と暮らすつもりである	将来、子ども(養子を含む)と暮らすつもりである	その他親族(甥や姪など)と暮らすつもりである	友人と暮らすつもりである	親族以外の人と生活の一部を共有しながら暮らすつもりである(コレクティブハウスなど)	その他	わからない
TOTAL	2,275	46.2	15.7	6.1	8.7	0.1	0.2	0.5	0.9	0.0	21.7
男性40-44歳	394	40.1	17.0	2.0	16.2	0.0	0.0	0.3	0.8	0.0	23.6
男性45-49歳	296	49.7	13.9	2.7	7.8	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	25.0
男性50-54歳	242	55.8	12.8	6.6	7.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	17.4
男性55-59歳	204	60.3	11.8	3.4	2.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	21.1
女性40-44歳	443	36.6	18.5	6.3	12.9	0.2	0.0	0.9	0.7	0.0	23.9
女性45-49歳	302	41.4	19.9	8.6	7.0	0.0	0.3	1.0	0.7	0.0	21.2
女性50-54歳	213	45.5	16.0	12.2	2.8	0.5	0.5	0.9	1.4	0.0	20.2
女性55-59歳	181	56.9	10.5	10.5	2.2	0.0	0.6	0.6	2.2	0.6	16.0

4 今の生活について

4.1 現在の健康状態

「まあ健康」が43.3%で第1位、「注意する点はあるが、日常生活に支障はない」が31.9%で第2位。「非常に健康」は男女ともに年齢階層が高くなるにつれて、回答割合が減少傾向。「注意する点はあるが、日常生活に支障はない」は男女ともに50代後半で他の年齢階層よりもやや多い。

図表 42 現在の健康状態(%)

	n=	非常に健康	まあ健康	注意する点 はあるが、日 常生活に支 障はない	注意する点 があり、日常 生活に支障 がある	病気がち、療 養中
TOTAL	2,275	12.3	43.3	31.9	6.2	6.2
男性40-44歳	394	13.2	41.4	35.0	4.6	5.8
男性45-49歳	296	12.8	37.8	37.5	5.1	6.8
男性50-54歳	242	12.0	39.3	35.5	7.4	5.8
男性55-59歳	204	8.3	42.2	33.3	9.3	6.9
女性40-44歳	443	15.1	45.6	26.2	7.2	5.9
女性45-49歳	302	12.9	46.4	28.5	4.6	7.6
女性50-54歳	213	9.9	49.8	30.0	5.2	5.2
女性55-59歳	181	9.4	45.3	31.5	8.3	5.5

4.2 最も充実感を感じる時

「趣味やスポーツに熱中している時」が第1位、「ゆったりと休憩している時」が22.2%で第2位、「一人である時」11.2%、「仕事に打ち込んでいる時」が10.2%と続く。「友人と会合、雑談している時」や「家族団らんの時」は、男性よりも女性の方がより充実感を感じている。

図表 43 最も充実感を感じる時(%)

	n=	仕事に打ち 込んでいる 時	勉強や教養 などに身を 入れている 時	趣味やス ポーツに熱 中している時	ゆったりと休 養している時	家族団らんの 時	友人と会合、 雑談している 時	恋人と雑談し ている時	社会奉仕や 社会活動をし ている時	一人である 時	その他	特にない
TOTAL	2,275	10.2	4.2	25.5	22.2	3.1	4.0	2.9	0.2	11.2	0.8	15.5
男性40-44歳	394	11.7	4.3	33.0	17.5	1.3	1.3	2.0	0.0	9.4	0.8	18.8
男性45-49歳	296	9.8	4.1	30.1	17.2	2.0	2.7	2.0	0.0	12.2	1.0	18.9
男性50-54歳	242	9.5	3.3	25.6	20.7	3.3	3.3	4.1	1.2	10.7	0.4	17.8
男性55-59歳	204	10.8	7.8	21.6	20.6	2.9	3.9	2.0	0.0	7.4	0.5	22.5
女性40-44歳	443	8.4	2.9	22.8	26.9	3.2	7.0	4.1	0.2	12.9	0.7	11.1
女性45-49歳	302	9.9	3.0	24.8	27.8	4.6	2.6	5.0	0.0	10.6	0.7	10.9
女性50-54歳	213	8.9	7.0	22.1	20.7	4.7	6.6	2.8	0.0	13.1	0.9	13.1
女性55-59歳	181	14.9	3.3	17.7	25.4	4.4	5.0	0.0	0.6	13.3	2.2	13.3

4.3 頼りにできる人

4.3.1 経済援助をしてくれる人

現在、いざという時に経済援助をしてくれる人は「特にいない」が51.2%で第1位。女性の40代では40%前後で他の階層よりも相対的に低い、他は過半数を超える水準。「母親」は19%で第2位、「父親」は16.4%で第3位。男女ともに年齢が高くなるにつれて、回答割合は減少する傾向がみられる。逆に「兄弟姉妹」は年齢が高くなるにつれて、回答割合が増加する傾向がみられる。

図表 44 【現在】 いざという時に経済援助をしてくれる人(%)

	n=	父親	母親	兄弟姉妹	恋人	その他親族	友人	職場の同僚	地域・近隣の 人	その他	特にいない
TOTAL	2,275	16.4	19.0	9.1	1.5	1.2	1.3	0.0	0.1	0.2	51.2
男性40-44歳	394	23.4	18.0	5.1	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.3	51.8
男性45-49歳	296	18.6	15.2	7.1	1.7	1.7	2.7	0.0	0.0	0.0	53.0
男性50-54歳	242	8.7	14.5	7.9	0.4	1.7	0.8	0.0	0.0	0.0	66.1
男性55-59歳	204	6.9	12.7	14.2	1.5	2.0	1.5	0.0	0.5	0.5	60.3
女性40-44歳	443	23.3	24.8	8.6	1.6	1.4	1.4	0.2	0.0	0.0	38.8
女性45-49歳	302	16.9	25.5	10.6	2.6	1.0	1.0	0.0	0.3	0.0	42.1
女性50-54歳	213	9.9	17.8	11.7	1.9	0.9	1.4	0.0	0.5	0.9	54.9
女性55-59歳	181	8.3	16.6	13.3	1.7	1.1	1.7	0.0	0.0	0.0	57.5

老後、いざという時に経済援助をしてくれる人は「特にいない」が現在よりも増加して78.8%。男性の回答割合が女性のそれよりもいずれの年齢階層でも上回る。「兄弟姉妹」は現在よりも増えて16.4%。男性よりも女性の方が回答割合は高い水準にある。

図表 45 【老後】 いざという時に経済援助をしてくれる人(%)

	n=	父親	母親	兄弟姉妹	恋人	その他親族	友人	職場の同僚	地域・近隣の 人	その他	特にいない
TOTAL	2,275			16.4	1.7	1.5	1.2	0.0	0.2	0.2	78.8
男性40-44歳	394			12.9	2.3	1.3	1.3	0.0	0.0	0.5	81.7
男性45-49歳	296			13.9	1.0	1.4	2.0	0.0	0.3	0.0	81.4
男性50-54歳	242			10.3	0.8	2.5	0.8	0.0	0.4	0.0	85.1
男性55-59歳	204			15.2	0.5	2.5	2.0	0.5	0.0	0.0	79.4
女性40-44歳	443			21.0	1.6	1.4	0.7	0.0	0.5	0.2	74.7
女性45-49歳	302			20.9	3.6	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	73.8
女性50-54歳	213			17.4	1.4	2.3	0.5	0.0	0.0	0.5	77.9
女性55-59歳	181			17.7	1.7	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	78.5

4.3.2 看護や家事をしてくれる人

現在、病気の時に看護や家事をしてくれる人は「特にいない」が52.3%で第1位。女性は男性よりも回答割合が相対的に低い。「母親」は30%で第2位、「兄弟姉妹」は9.8%で第3位。男女とも「父親」は1.8%と極めて低い水準。男女ともに「母親」と回答した割合は年齢階層が高まるにつれて減少する一方で、「兄弟姉妹」は増加傾向をたどり、50代後半ではほぼ同水準か後者が前者を上回る。

図表 46 【現在】病気の時に看護や家事をしてくれる人(%)

	n=	父親	母親	兄弟姉妹	恋人	その他親族	友人	職場の同僚	地域・近隣の 人	その他	特にいない
TOTAL	2,275	1.8	30.0	9.8	2.7	0.8	1.9	0.3	0.3	0.2	52.3
男性40-44歳	394	2.8	32.7	3.6	4.6	0.5	1.0	0.5	0.0	0.3	54.1
男性45-49歳	296	1.4	29.1	8.1	2.4	1.0	1.0	0.0	0.3	0.0	56.8
男性50-54歳	242	1.2	19.4	10.3	1.7	1.7	0.4	0.0	0.4	0.0	64.9
男性55-59歳	204	1.0	14.2	13.2	2.0	0.5	1.0	0.0	0.0	0.5	67.6
女性40-44歳	443	1.8	44.7	8.4	2.3	0.2	2.0	0.2	0.5	0.5	39.5
女性45-49歳	302	2.0	39.1	9.6	2.6	0.7	4.0	0.3	0.0	0.0	41.7
女性50-54歳	213	2.3	20.7	13.1	3.3	1.4	1.9	0.5	0.0	0.0	56.8
女性55-59歳	181	0.6	17.1	22.1	1.7	1.1	4.4	0.6	1.1	0.6	50.8

老後、病気の時に看護や家事をしてくれる人は「特にいない」が現在よりも増加して77.5%。男性の回答割合が女性のそれよりもいずれの年齢階層でも上回る。「兄弟姉妹」は現在よりも増えて15.8%。男性よりも女性の方が回答割合は高い水準にある。

図表 47 【老後】病気の時に看護や家事をしてくれる人(%)

	n=	父親	母親	兄弟姉妹	恋人	その他親族	友人	職場の同僚	地域・近隣の 人	その他	特にいない
TOTAL	2,275			15.8	3.2	1.2	1.5	0.1	0.3	0.4	77.5
男性40-44歳	394			7.6	5.1	0.8	0.3	0.3	0.0	0.5	85.5
男性45-49歳	296			11.8	2.7	1.0	1.4	0.0	0.3	0.0	82.8
男性50-54歳	242			12.0	2.1	1.7	0.0	0.0	0.8	0.0	83.5
男性55-59歳	204			15.2	2.0	1.0	0.5	0.0	0.5	0.5	80.4
女性40-44歳	443			21.0	3.8	1.4	2.3	0.2	0.2	0.7	70.4
女性45-49歳	302			20.9	3.3	0.7	3.6	0.0	0.0	0.0	71.5
女性50-54歳	213			19.2	3.3	1.9	0.5	0.0	0.0	0.0	75.1
女性55-59歳	181			21.0	1.1	2.2	3.3	0.0	0.6	1.1	70.7

4.3.3 悩みを聞いてくれる人

現在、悩みを聞いてくれる人は「特にいない」が49.4%で第1位。女性は男性よりも回答割合が非常に低く、男性の半分程度。「友人」は26.5%で第2位、「母親」は9%で第3位。「友人」は女性が男性に比べて格段に多く、特に50代後半では4割を上回る。女性では、40代は「母親」、50代では「兄弟姉妹」が第3位。

図表 48 【現在】悩みを聞いてくれる人(%)

	n=	父親	母親	兄弟姉妹	恋人	その他親族	友人	職場の同僚	地域・近隣の 人	その他	特にいない
TOTAL	2,275	1.0	9.0	5.4	5.2	0.4	26.5	2.0	0.4	0.8	49.4
男性40-44歳	394	1.8	8.6	1.8	6.3	0.0	17.5	1.8	0.0	1.0	61.2
男性45-49歳	296	1.0	7.4	3.7	2.4	0.0	21.3	1.4	0.7	0.7	61.5
男性50-54歳	242	1.7	3.3	2.9	2.5	0.4	17.8	2.5	0.4	0.4	68.2
男性55-59歳	204	0.5	4.9	4.4	2.5	0.5	16.7	1.5	1.5	2.0	65.7
女性40-44歳	443	0.9	14.2	6.3	7.2	0.7	31.8	2.5	0.0	0.9	35.4
女性45-49歳	302	0.3	13.6	6.3	7.6	0.0	32.8	3.3	0.3	0.3	35.4
女性50-54歳	213	1.4	7.5	9.4	5.6	0.9	37.1	0.9	0.0	0.5	36.6
女性55-59歳	181	0.0	5.5	11.6	4.4	1.7	41.4	1.7	0.6	0.6	32.6

老後に悩みを聞いてくれる人は「特にいない」が63.8%で第1位。女性は男性よりも回答割合が非常に低い。「友人」は21.9%で第2位、「兄弟姉妹」は8.5%で第3位。「友人」および「兄弟姉妹」は女性が男性に比べて回答割合が多い。

図表 49 【老後】悩みを聞いてくれる人(%)

	n=	父親	母親	兄弟姉妹	恋人	その他親族	友人	職場の同僚	地域・近隣の 人	その他	特にいない
TOTAL	2,275			8.5	4.0	0.6	21.9	0.4	0.4	0.3	63.8
男性40-44歳	394			3.8	6.3	0.8	12.9	0.3	0.8	0.3	74.9
男性45-49歳	296			7.1	2.4	0.7	14.9	0.0	0.7	0.3	74.0
男性50-54歳	242			6.2	2.9	0.4	13.2	0.0	1.2	0.0	76.0
男性55-59歳	204			6.9	2.5	1.0	12.7	1.0	0.5	0.5	75.0
女性40-44歳	443			10.8	3.6	0.5	26.9	0.7	0.0	0.5	57.1
女性45-49歳	302			9.6	5.6	0.7	30.8	0.7	0.0	0.3	52.3
女性50-54歳	213			13.1	4.7	0.5	31.5	0.5	0.5	0.0	49.3
女性55-59歳	181			13.3	2.2	0.6	37.0	0.0	0.0	0.6	46.4

4.3.4 老後に介護を任せられる人

老後に介護を任せられる人は「特にいない」が87.7%の第1位で跳びぬけて高い水準。「兄弟姉妹」は第2位だが、7.3%と他の質問項目の第2位と比べても極めて低い水準にとどまっている。

図表 50 老後に介護を任せられる人(%)

	n=	父親	母親	兄弟姉妹	恋人	その他親族	友人	職場の同僚	地域・近隣の人	その他	特にいない
TOTAL	2,275			7.3	2.4	1.3	0.7	0.0	0.3	0.4	87.7
男性40-44歳	394			3.3	4.3	0.5	0.5	0.0	0.8	0.0	90.6
男性45-49歳	296			7.4	2.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	87.5
男性50-54歳	242			4.5	1.2	1.2	0.4	0.0	0.0	0.4	92.1
男性55-59歳	204			3.9	1.5	1.5	1.5	0.5	0.0	1.0	90.2
女性40-44歳	443			8.4	2.3	1.4	0.2	0.0	0.5	0.7	86.7
女性45-49歳	302			11.3	3.3	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	83.8
女性50-54歳	213			9.9	2.3	2.3	0.5	0.0	0.0	0.0	85.0
女性55-59歳	181			10.5	0.6	1.1	0.6	0.0	1.1	1.1	85.1

4.4 生活満足度

4.4.1 今の生活全般

今の生活全般に関して「まあ満足」が47.6%で第1位、次いで「やや不満」29.9%、「非常に不満」18%と続く。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、全年齢階層にわたって女性の方が男性に比べて満足感が高く、「満足」の割合がいずれも50%以上である。一方、男性は40代後半と50代前半で「不満」が「満足」を上回っている。

図表 51 今の生活全般に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275		4.5	47.6	29.9	18.0	52.1	47.9
男性40-44歳	394		3.0	47.7	28.7	20.6	50.7	49.3
男性45-49歳	296		2.4	38.5	37.5	21.6	40.9	59.1
男性50-54歳	242		4.5	41.7	34.7	19.0	46.2	53.7
男性55-59歳	204		3.4	50.0	28.9	17.6	53.4	46.5
女性40-44歳	443		7.0	51.7	26.6	14.7	58.7	41.3
女性45-49歳	302		4.3	50.3	27.8	17.5	54.6	45.3
女性50-54歳	213		6.6	45.5	30.0	17.8	52.1	47.8
女性55-59歳	181		4.4	54.7	26.0	14.9	59.1	40.9

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.2 仕事の内容

仕事の内容に関して「まあ満足」が46.4%で第1位、次いで「やや不満」33.6%、「非常に不満」14.3%と続く。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、全年齢階層にわたって女性の方が男性に比べて満足感が高い。男性は40代後半と50代前半で、女性は50代前半で「不満」が「満足」を上回っている。

図表 52 仕事の内容に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	1,873	0.4	5.3	46.4	33.6	14.3	51.7	47.9
男性40-44歳	349	0.6	5.7	45.6	34.1	14.0	51.3	48.1
男性45-49歳	244	0.4	4.1	42.2	36.1	17.2	46.3	53.3
男性50-54歳	203	0.0	4.4	39.9	39.9	15.8	44.3	55.7
男性55-59歳	145	0.0	2.8	50.3	35.9	11.0	53.1	46.9
女性40-44歳	380	0.5	6.8	52.1	29.7	10.8	58.9	40.5
女性45-49歳	247	0.4	5.3	48.6	31.6	14.2	53.9	45.8
女性50-54歳	177	0.0	6.2	41.8	32.8	19.2	48.0	52.0
女性55-59歳	128	0.8	4.7	48.4	32.0	14.1	53.1	46.1

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.3 職場の人間関係

職場の人間関係に関して「まあ満足」が53%で第1位、次いで「やや不満」26.1%、「非常に不満」10.8%と続く。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「満足」が「不満」を上回っている。特に女性の40代前半の満足度は高い。

図表 53 職場の人間関係に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	1,873	3.7	6.4	53.0	26.1	10.8	59.4	36.9
男性40-44歳	349	3.7	7.2	51.3	24.9	12.9	58.5	37.8
男性45-49歳	244	3.3	4.5	52.0	26.6	13.5	56.5	40.1
男性50-54歳	203	3.4	3.4	52.7	27.6	12.8	56.1	40.4
男性55-59歳	145	9.0	6.2	55.2	25.5	4.1	61.4	29.6
女性40-44歳	380	1.8	9.7	53.9	23.9	10.5	63.6	34.4
女性45-49歳	247	1.6	5.7	55.1	27.5	10.1	60.8	37.6
女性50-54歳	177	5.1	5.1	49.2	30.5	10.2	54.3	40.7
女性55-59歳	128	7.0	5.5	55.5	24.2	7.8	61.0	32.0

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.4 収入

収入に関して「やや不満」が38.2%で第1位、次いで「非常に不満」29.7%、「まあ満足」28.7%と続く。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「不満」が「満足」を大きく上回っている。男女ともに年齢階層が上がるにつれて、不満足感は幾分緩和される傾向がみられる。

図表 54 収入に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275	1.1	2.2	28.7	38.2	29.7	30.9	67.9
男性40-44歳	394	0.5	2.8	28.2	40.4	28.2	31.0	68.6
男性45-49歳	296	1.7	1.0	26.0	35.5	35.8	27.0	71.3
男性50-54歳	242	2.1	2.1	23.6	40.9	31.4	25.7	72.3
男性55-59歳	204	1.5	1.0	27.5	39.2	30.9	28.5	70.1
女性40-44歳	443	1.1	2.9	32.1	37.5	26.4	35.0	63.9
女性45-49歳	302	0.7	1.7	27.5	40.1	30.1	29.2	70.2
女性50-54歳	213	0.5	4.7	29.1	33.8	31.9	33.8	65.7
女性55-59歳	181	1.7	1.1	35.9	37.6	23.8	37.0	61.4

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.5 資産・貯蓄

資産・貯蓄に関して「やや不満」が 39.6%で第1位、次いで「非常に不満」29.8%、「まあ満足」26.9%と続く。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「不満」が「満足」を大きく上回っている。男女ともに年齢階層が上がるにつれて、不満足感は幾分緩和される傾向がみられる。

図表 55 資産・貯蓄に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275	1.5	2.2	26.9	39.6	29.8	29.1	69.4
男性40-44歳	394	0.8	2.5	25.9	39.8	31.0	28.4	70.8
男性45-49歳	296	2.7	1.0	25.7	39.5	31.1	26.7	70.6
男性50-54歳	242	2.1	2.9	24.8	39.7	30.6	27.7	70.3
男性55-59歳	204	0.0	3.4	29.9	38.2	28.4	33.3	66.6
女性40-44歳	443	1.1	2.0	26.2	40.2	30.5	28.2	70.7
女性45-49歳	302	1.7	2.0	26.5	39.1	30.8	28.5	69.9
女性50-54歳	213	0.9	2.3	29.1	37.6	30.0	31.4	67.6
女性55-59歳	181	2.8	2.2	30.4	43.1	21.5	32.6	64.6

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.6 趣味やスポーツ活動

趣味やスポーツ活動に関して「まあ満足」が 51.2%で第1位、次いで「やや不満」27.2%、「非常に不満」は「非常に満足」とほぼ同水準で 10%未満。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「満足」が「不満」を上回っている。男女ともに年齢階層が上がるにつれて、満足度は緩やかに後退する傾向がみられる。

図表 56 趣味やスポーツ活動に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275	3.6	8.9	51.2	27.2	9.1	60.1	36.3
男性40-44歳	394	3.0	10.9	49.2	27.2	9.6	60.1	36.8
男性45-49歳	296	3.4	8.1	51.7	27.4	9.5	59.8	36.9
男性50-54歳	242	3.3	5.8	51.7	28.5	10.7	57.5	39.2
男性55-59歳	204	2.5	4.4	51.5	32.4	9.3	55.9	41.7
女性40-44歳	443	4.5	12.0	51.5	23.9	8.1	63.5	32.0
女性45-49歳	302	4.3	8.6	53.3	25.2	8.6	61.9	33.8
女性50-54歳	213	2.8	10.8	50.7	26.8	8.9	61.5	35.7
女性55-59歳	181	4.4	6.1	49.7	30.9	8.8	55.8	39.7

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.7 家族

家族に関して「まあ満足」が55.2%で第1位、次いで「やや不満」19.3%。「非常に満足」は11.8%と「非常に不満」8.7%を上回っている。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「満足」が「不満」を大きく上回っている。男女で比較すると、女性の方が男性よりも満足度は高くなっている。

図表 57 家族に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275	5.1	11.8	55.2	19.3	8.7	67.0	28.0
男性40-44歳	394	5.1	13.7	50.5	18.5	12.2	64.2	30.7
男性45-49歳	296	5.4	8.1	52.7	23.3	10.5	60.8	33.8
男性50-54歳	242	8.3	7.9	59.1	16.5	8.3	67.0	24.8
男性55-59歳	204	8.3	7.4	53.9	22.5	7.8	61.3	30.3
女性40-44歳	443	1.6	16.7	55.5	20.5	5.6	72.2	26.1
女性45-49歳	302	2.6	14.6	59.6	15.6	7.6	74.2	23.2
女性50-54歳	213	4.7	11.3	54.5	19.7	9.9	65.8	29.6
女性55-59歳	181	9.4	8.3	58.0	16.6	7.7	66.3	24.3

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.8 恋人

恋人に関して「あてはまらない」が28.2%で第1位。次いで「まあ満足」26.6%、「やや不満」20.7%、「非常に不満」19.4%。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、全体では「不満」感が強いが、女性の40代では「満足」が「不満」を上回っている。

図表 58 恋人に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275	28.2	5.1	26.6	20.7	19.4	31.7	40.1
男性40-44歳	394	23.4	6.3	22.8	22.3	25.1	29.1	47.4
男性45-49歳	296	19.3	4.1	25.0	22.6	29.1	29.1	51.7
男性50-54歳	242	28.9	3.7	27.7	23.1	16.5	31.4	39.6
男性55-59歳	204	27.0	3.4	23.0	23.0	23.5	26.4	46.5
女性40-44歳	443	27.1	6.3	31.2	20.3	15.1	37.5	35.4
女性45-49歳	302	34.8	7.6	28.1	15.2	14.2	35.7	29.4
女性50-54歳	213	32.4	4.7	28.2	18.8	16.0	32.9	34.8
女性55-59歳	181	40.3	0.6	24.9	21.0	13.3	25.5	34.3

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.9 友人

友人に関して「まあ満足」が54.4%で第1位、次いで「やや不満」16.9%、「非常に満足」は11.1%と「非常に不満」8%を上回っている。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「満足」が「不満」を大きく上回っている。男女で比較すると、女性の方が男性よりも満足度は高くなっている。

図表 59 友人に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275	9.6	11.1	54.4	16.9	8.0	65.5	24.9
男性40-44歳	394	10.2	8.6	49.5	19.0	12.7	58.1	31.7
男性45-49歳	296	7.8	7.4	52.4	21.6	10.8	59.8	32.4
男性50-54歳	242	15.3	9.1	47.5	21.1	7.0	56.6	28.1
男性55-59歳	204	11.8	7.4	49.0	22.5	9.3	56.4	31.8
女性40-44歳	443	9.5	15.1	54.4	15.3	5.6	69.5	20.9
女性45-49歳	302	8.3	15.9	57.9	11.9	6.0	73.8	17.9
女性50-54歳	213	8.0	13.1	65.3	8.0	5.6	78.4	13.6
女性55-59歳	181	6.1	9.4	65.2	14.9	4.4	74.6	19.3

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.4.10 地域・近隣の人

地域・近隣の人に関して「まあ満足」が52.3%で第1位、次いで「やや不満」21.3%、「あてはまらない」13.5%、「非常に不満」10.3%。「非常に満足」と「まあ満足」、「やや不満」と「非常に不満」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「満足」が「不満」を大きく上回っている。男女で比較すると、女性の方が男性よりも満足度は幾分高くなっている。

図表 60 地域・近隣の人に関する満足度(%)

	n=	あてはまらない	非常に満足	まあ満足	やや不満	非常に不満	満足	不満
TOTAL	2,275	13.5	2.7	52.3	21.3	10.3	55.0	31.6
男性40-44歳	394	13.2	2.8	46.7	22.3	15.0	49.5	37.3
男性45-49歳	296	9.8	1.7	50.7	24.3	13.5	52.4	37.8
男性50-54歳	242	16.1	2.5	49.6	22.7	9.1	52.1	31.8
男性55-59歳	204	13.7	2.0	50.0	23.0	11.3	52.0	34.3
女性40-44歳	443	15.8	3.8	55.1	16.5	8.8	58.9	25.3
女性45-49歳	302	10.9	2.6	56.3	23.2	7.0	58.9	30.2
女性50-54歳	213	14.1	4.2	54.0	20.2	7.5	58.2	27.7
女性55-59歳	181	13.8	0.6	57.5	19.9	8.3	58.1	28.2

(注)「満足」は「非常に満足」と「まあ満足」の合計。「不満」は「やや不満」と「非常に不満」の合計。

4.5 「現在」および「老後」の生活における不安

4.5.1 今の生活全般への不安

今の生活全般への不安に関して「少し不安に感じる」が47.6%で第1位、次いで「大変不安に感じる」27%、「あまり不安でない」21.8%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。男女で比較すると、女性の50代が他のグループよりも不安感が幾分弱くなっている。

図表 61 今の生活全般への不安(%)

	n=	大変不安に感じる	少し不安に感じる	あまり不安でない	まったく不安を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	27.0	47.6	21.8	3.5	74.6	25.3
男性40-44歳	394	26.9	48.5	20.6	4.1	75.4	24.7
男性45-49歳	296	28.0	47.6	21.3	3.0	75.6	24.3
男性50-54歳	242	27.3	50.8	18.2	3.7	78.1	21.9
男性55-59歳	204	25.5	47.5	25.0	2.0	73.0	27.0
女性40-44歳	443	24.4	50.1	22.1	3.4	74.5	25.5
女性45-49歳	302	28.5	48.0	20.9	2.6	76.5	23.5
女性50-54歳	213	31.0	40.4	23.5	5.2	71.4	28.7
女性55-59歳	181	26.5	43.6	26.0	3.9	70.1	29.9

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.2 今の生活における自分自身の健康への不安

今の生活における自分自身の健康への不安に関して「少し不安に感じる」が52.5%で第1位、次いで「あまり不安でない」25.3%、「大変不安に感じる」19.5%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。

図表 62 今の生活における自分自身の健康への不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	19.5	52.5	25.3	2.7	72.0	28.0
男性40-44歳	394	17.5	54.8	23.6	4.1	72.3	27.7
男性45-49歳	296	23.0	50.3	24.7	2.0	73.3	26.7
男性50-54歳	242	20.7	49.6	27.3	2.5	70.3	29.8
男性55-59歳	204	19.1	51.0	27.0	2.9	70.1	29.9
女性40-44歳	443	19.6	49.7	28.4	2.3	69.3	30.7
女性45-49歳	302	18.9	55.6	23.5	2.0	74.5	25.5
女性50-54歳	213	19.2	56.3	21.6	2.8	75.5	24.4
女性55-59歳	181	17.7	54.1	25.4	2.8	71.8	28.2

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.3 今の生活における生活費への不安

今の生活における生活費への不安に関して「少し不安に感じる」が47.6%で第1位、次いで「大変不安に感じる」27%、「あまり不安でない」21.8%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢階層にわたって「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。男女で比較すると、女性の50代が他のグループよりも不安感が幾分弱くなっている。

図表 63 今の生活における生活費への不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	29.8	45.2	22.9	2.1	75.0	25.0
男性40-44歳	394	29.4	45.4	21.6	3.6	74.8	25.2
男性45-49歳	296	29.7	44.9	22.3	3.0	74.6	25.3
男性50-54歳	242	29.3	48.3	20.7	1.7	77.6	22.4
男性55-59歳	204	27.0	42.6	29.4	1.0	69.6	30.4
女性40-44歳	443	29.8	46.3	22.1	1.8	76.1	23.9
女性45-49歳	302	32.8	47.4	18.9	1.0	80.2	19.9
女性50-54歳	213	31.9	40.4	25.8	1.9	72.3	27.7
女性55-59歳	181	27.1	43.1	27.6	2.2	70.2	29.8

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.4 今の生活における安心して住める住宅がないことへの不安

今の生活における安心して住める住宅がないことへの不安に関して「あまり不安でない」が38.6%で第1位、次いで「少し不安に感じる」33.1%、「大変不安に感じる」16.7%。一方、「まったく不安を感じない」は11.5%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、他の質問と異なり両者の割合は拮抗している。男女で比較すると、女性のほうが男性よりも不安感が強い。男性の40代後半と50代、女性の50代後半で「不安でない」が「不安」を上回っている。

図表 64 今の生活における安心して住める住宅がないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	16.7	33.1	38.6	11.5	49.8	50.1
男性40-44歳	394	15.0	41.4	32.5	11.2	56.4	43.7
男性45-49歳	296	14.2	35.1	40.2	10.5	49.3	50.7
男性50-54歳	242	14.9	31.4	41.7	12.0	46.3	53.7
男性55-59歳	204	14.7	27.0	45.1	13.2	41.7	58.3
女性40-44歳	443	19.6	31.6	37.2	11.5	51.2	48.7
女性45-49歳	302	21.9	30.5	35.8	11.9	52.4	47.7
女性50-54歳	213	17.4	35.2	38.0	9.4	52.6	47.4
女性55-59歳	181	13.3	27.1	47.0	12.7	40.4	59.7

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.5 今の生活における家族の健康への不安

今の生活における家族の健康への不安に関して「少し不安に感じる」が 53.2%で第1位。次いで「あまり不安でない」が 21.6%、「大変不安に感じる」が 20.1%で両者がほぼ同水準。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢層にわたって「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。男女で比較すると、各年齢階層で女性のほうが男性よりも不安感が強い。

図表 65 今の生活における家族の健康への不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	20.1	53.2	21.6	5.1	73.3	26.7
男性40-44歳	394	15.5	57.6	21.6	5.3	73.1	26.9
男性45-49歳	296	18.9	50.7	24.7	5.7	69.6	30.4
男性50-54歳	242	19.8	50.8	21.1	8.3	70.6	29.4
男性55-59歳	204	19.6	46.6	24.5	9.3	66.2	33.8
女性40-44歳	443	22.3	54.4	21.4	1.8	76.7	23.2
女性45-49歳	302	21.9	60.3	15.6	2.3	82.2	17.9
女性50-54歳	213	22.1	52.1	21.1	4.7	74.2	25.8
女性55-59歳	181	22.1	44.8	24.9	8.3	66.9	33.2

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.6 今の生活における面倒をみてくれる人がいないことへの不安

今の生活における面倒をみてくれる人がいないことへの不安に関して「少し不安に感じる」が 48.6%で第1位。次いで「あまり不安でない」が 24.9%、「大変不安に感じる」が 22.9%で両者がほぼ同水準。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、男女ともに全年齢層にわたって「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。

図表 66 今の生活における面倒をみてくれる人がいないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	22.9	48.6	24.9	3.6	71.5	28.5
男性40-44歳	394	18.3	53.0	23.4	5.3	71.3	28.7
男性45-49歳	296	23.6	45.6	26.0	4.7	69.2	30.7
男性50-54歳	242	21.1	55.0	20.7	3.3	76.1	24.0
男性55-59歳	204	20.1	51.5	27.0	1.5	71.6	28.5
女性40-44歳	443	25.7	45.4	25.5	3.4	71.1	28.9
女性45-49歳	302	23.8	49.0	24.5	2.6	72.8	27.1
女性50-54歳	213	25.4	44.6	27.2	2.8	70.0	30.0
女性55-59歳	181	26.5	44.2	26.0	3.3	70.7	29.3

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.7 今の生活における適当な話し相手がいらないことへの不安

今の生活における適当な話し相手がいらないことへの不安に関して「あまり不安でない」が 42.7%で第1位。次いで「少し不安に感じる」36.2%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、両者の割合は拮抗している。男女で比較すると、男性のほうが女性よりも不安感が強い。男性の40代前半と女性の全年齢層で「不安でない」が「不安」を上回っている。

図表 67 今の生活における適当な話し相手がいらないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	11.6	36.2	42.7	9.5	47.8	52.2
男性40-44歳	394	11.7	37.8	38.8	11.7	49.5	50.5
男性45-49歳	296	11.8	38.9	36.1	13.2	50.7	49.3
男性50-54歳	242	13.2	40.9	40.5	5.4	54.1	45.9
男性55-59歳	204	10.8	40.7	42.2	6.4	51.5	48.6
女性40-44歳	443	12.0	33.2	44.0	10.8	45.2	54.8
女性45-49歳	302	11.3	29.8	51.3	7.6	41.1	58.9
女性50-54歳	213	9.4	37.1	45.1	8.5	46.5	53.6
女性55-59歳	181	12.2	34.3	44.8	8.8	46.5	53.6

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.8 今の生活における恋人がいらないことへの不安

今の生活における恋人がいらないことへの不安は、「あまり不安でない」が 38.6%で第1位。次いで「少し不安に感じる」27.9%。さらに「まったく不安を感じない」17.8%、「大変不安に感じる」15.6%とばらつきがみられる。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、「不安でない」が「不安」を上回っている。男女で比較すると、男性のほうが女性よりも不安感が強い。男性の40代だけが「不安」が「不安でない」を上回っている。

図表 68 今の生活における恋人がいないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	15.6	27.9	38.6	17.8	43.5	56.4
男性40-44歳	394	20.3	33.8	28.2	17.8	54.1	46.0
男性45-49歳	296	21.3	31.1	33.1	14.5	52.4	47.6
男性50-54歳	242	17.8	32.2	38.0	12.0	50.0	50.0
男性55-59歳	204	16.7	33.3	35.8	14.2	50.0	50.0
女性40-44歳	443	15.1	26.4	38.4	20.1	41.5	58.5
女性45-49歳	302	10.9	22.5	45.0	21.5	33.4	66.5
女性50-54歳	213	8.5	23.0	49.3	19.2	31.5	68.5
女性55-59歳	181	9.9	16.6	51.4	22.1	26.5	73.5

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.9 今の生活における適当な趣味がないことへの不安

今の生活における適当な趣味がないことへの不安に関して「あまり不安でない」が49.9%でほぼ半分を占めて第1位。次いで「少し不安に感じる」23.6%、「まったく不安を感じない」19.9%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、「不安でない」が「不安」を大幅に上回っている。男女および年齢層のすべてで、「不安でない」が「不安」を大幅に上回っている。

図表 69 今の生活における適当な趣味がないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	6.6	23.6	49.9	19.9	30.2	69.8
男性40-44歳	394	7.1	26.6	42.6	23.6	33.7	66.2
男性45-49歳	296	7.1	25.7	46.6	20.6	32.8	67.2
男性50-54歳	242	7.4	24.0	50.8	17.8	31.4	68.6
男性55-59歳	204	8.8	23.0	49.0	19.1	31.8	68.1
女性40-44歳	443	5.4	23.3	50.3	21.0	28.7	71.3
女性45-49歳	302	5.6	22.5	53.6	18.2	28.1	71.8
女性50-54歳	213	6.1	22.1	54.9	16.9	28.2	71.8
女性55-59歳	181	6.1	17.7	58.0	18.2	23.8	76.2

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.10 今の生活における雇用が不安定なことへの不安

今の生活における雇用が不安定なことへの不安に関して「少し不安に感じる」が37.5%で第1位。次いで「あまり不安でない」33.1%、「大変不安に感じる」21%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、「不安」が「不安でない」を上回っている。50代後半の女性だけは、「不安でない」が「不安」をわずかに上回っている。

図表 70 今の生活における雇用が不安定なことへの不安(%)

n=		大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	21.0	37.5	33.1	8.4	58.5	41.5
男性40-44歳	394	20.6	39.3	29.7	10.4	59.9	40.1
男性45-49歳	296	19.6	38.5	33.4	8.4	58.1	41.8
男性50-54歳	242	19.4	39.7	33.1	7.9	59.1	41.0
男性55-59歳	204	19.1	35.3	32.8	12.7	54.4	45.5
女性40-44歳	443	21.2	38.1	33.0	7.7	59.3	40.7
女性45-49歳	302	23.8	41.4	29.1	5.6	65.2	34.7
女性50-54歳	213	23.9	32.9	39.4	3.8	56.8	43.2
女性55-59歳	181	19.9	29.3	39.2	11.6	49.2	50.8

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.11 今の生活における先行きに対する漠然とした不安感

今の生活における先行きに対する漠然とした不安感は、「少し不安に感じる」が 47.1%で第1位。次いで「大変不安に感じる」29.5%、「あまり不安でない」19.8%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。

図表 71 今の生活における先行きに対する漠然とした不安感(%)

n=		大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	29.5	47.1	19.8	3.5	76.6	23.3
男性40-44歳	394	27.4	45.2	21.8	5.6	72.6	27.4
男性45-49歳	296	29.7	47.6	18.9	3.7	77.3	22.6
男性50-54歳	242	28.1	50.8	17.8	3.3	78.9	21.1
男性55-59歳	204	22.1	53.4	22.5	2.0	75.5	24.5
女性40-44歳	443	31.8	44.5	21.4	2.3	76.3	23.7
女性45-49歳	302	31.1	50.7	15.6	2.6	81.8	18.2
女性50-54歳	213	32.9	44.1	19.2	3.8	77.0	23.0
女性55-59歳	181	32.0	42.5	20.4	5.0	74.5	25.4

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.12 老後の生活全般への不安

老後の生活全般への不安は、「少し不安に感じる」が 44.7%で第1位。次いで「大変不安に感じる」36.7%、「あまり不安でない」16.2%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。

図表 72 老後の生活全般への不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	36.7	44.7	16.2	2.4	81.4	18.6
男性40-44歳	394	33.8	45.2	17.0	4.1	79.0	21.1
男性45-49歳	296	36.8	41.6	18.6	3.0	78.4	21.6
男性50-54歳	242	32.6	48.8	16.5	2.1	81.4	18.6
男性55-59歳	204	29.4	51.0	17.6	2.0	80.4	19.6
女性40-44歳	443	41.1	41.8	15.8	1.4	82.9	17.2
女性45-49歳	302	40.1	47.4	11.3	1.3	87.5	12.6
女性50-54歳	213	39.0	42.3	16.0	2.8	81.3	18.8
女性55-59歳	181	37.0	42.5	18.2	2.2	79.5	20.4

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.13 老後の生活における自分自身の健康への不安

老後の生活における自分自身の健康への不安に関して「少し不安に感じる」が52.2%で第1位。次いで「大変不安に感じる」24.7%、「あまり不安でない」20.5%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。女性の方が男性よりも各年齢階層で、より不安感が強い。

図表 73 老後の生活における自分自身の健康への不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	24.7	52.2	20.5	2.6	76.9	23.1
男性40-44歳	394	22.3	52.5	21.1	4.1	74.8	25.2
男性45-49歳	296	24.3	50.7	21.3	3.7	75.0	25.0
男性50-54歳	242	22.7	52.9	22.3	2.1	75.6	24.4
男性55-59歳	204	21.6	53.9	21.6	2.9	75.5	24.5
女性40-44歳	443	27.5	48.5	21.9	2.0	76.0	23.9
女性45-49歳	302	26.5	55.6	16.9	1.0	82.1	17.9
女性50-54歳	213	23.5	54.9	18.8	2.8	78.4	21.6
女性55-59歳	181	27.6	51.4	18.8	2.2	79.0	21.0

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.14 老後の生活における生活費への不安

老後の生活における生活費への不安に関して「少し不安に感じる」が45%で第1位。次いで「大変不安に感じる」35.3%、「あまり不安でない」17.7%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。

図表 74 老後の生活における生活費への不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	35.3	45.0	17.7	1.9	80.3	19.6
男性40-44歳	394	33.8	44.9	18.0	3.3	78.7	21.3
男性45-49歳	296	34.1	44.3	19.6	2.0	78.4	21.6
男性50-54歳	242	34.3	48.8	15.3	1.7	83.1	17.0
男性55-59歳	204	27.5	44.1	26.5	2.0	71.6	28.5
女性40-44歳	443	40.4	41.8	16.7	1.1	82.2	17.8
女性45-49歳	302	36.1	51.0	12.3	0.7	87.1	13.0
女性50-54歳	213	37.6	42.7	17.4	2.3	80.3	19.7
女性55-59歳	181	34.8	43.1	19.3	2.8	77.9	22.1

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.15 老後の生活における安心して住める住宅がないことへの不安

老後の生活における安心して住める住宅がないことへの不安に関して「あまり不安でない」が34.9%で「少し不安に感じる」の34.2%とほぼ同水準。次いで「大変不安に感じる」21.7%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安」が「不安でない」を上回っている。男女ともに年齢階層が上がるにつれて不安感は薄れて、50代後半の男女では「不安でない」が「不安」を上回っている。

図表 75 老後の生活における安心して住める住宅がないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	21.7	34.2	34.9	9.2	55.9	44.1
男性40-44歳	394	22.3	39.1	28.9	9.6	61.4	38.5
男性45-49歳	296	18.2	35.5	35.8	10.5	53.7	46.3
男性50-54歳	242	17.4	36.0	36.0	10.7	53.4	46.7
男性55-59歳	204	16.2	27.9	44.6	11.3	44.1	55.9
女性40-44歳	443	27.3	32.7	31.2	8.8	60.0	40.0
女性45-49歳	302	26.5	32.5	35.8	5.3	59.0	41.1
女性50-54歳	213	21.6	34.7	36.2	7.5	56.3	43.7
女性55-59歳	181	16.6	32.0	39.8	11.6	48.6	51.4

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.16 老後の生活における家族に先立たれることへの不安

老後の生活における家族に先立たれることへの不安は、「少し不安に感じる」が41.1%で第1位。次いで「大変不安に感じる」27.7%と「あまり不安でない」23.2%がほぼ同水準。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。男女ともに年齢階層が上がるにつれて不安感は幾分後退していく。

図表 76 老後の生活における家族に先立たれることへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	27.7	41.1	23.2	8.0	68.8	31.2
男性40-44歳	394	26.4	43.9	22.3	7.4	70.3	29.7
男性45-49歳	296	25.3	38.9	24.7	11.1	64.2	35.8
男性50-54歳	242	22.7	40.1	27.7	9.5	62.8	37.2
男性55-59歳	204	19.1	36.8	28.9	15.2	55.9	44.1
女性40-44歳	443	36.3	40.6	19.4	3.6	76.9	23.0
女性45-49歳	302	29.8	47.7	17.2	5.3	77.5	22.5
女性50-54歳	213	31.5	36.6	24.9	7.0	68.1	31.9
女性55-59歳	181	22.1	39.8	27.6	10.5	61.9	38.1

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.17 老後の生活における面倒をみてくれる人がいないことへの不安

老後の生活における面倒をみてくれる人がいないことへの不安は、「少し不安に感じる」が46.2%で第1位。次いで「大変不安に感じる」27.9%、「あまり不安でない」21.6%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安」が「不安でない」を大きく上回っている。女性の方が男性よりも不安感が強い。

図表 77 老後の生活における面倒をみてくれる人がいないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	27.9	46.2	21.6	4.3	74.1	25.9
男性40-44歳	394	24.9	49.7	19.8	5.6	74.6	25.4
男性45-49歳	296	29.4	41.2	23.6	5.7	70.6	29.3
男性50-54歳	242	24.8	48.3	22.3	4.5	73.1	26.8
男性55-59歳	204	21.6	48.5	26.0	3.9	70.1	29.9
女性40-44歳	443	33.9	41.5	20.8	3.8	75.4	24.6
女性45-49歳	302	29.1	49.3	18.2	3.3	78.4	21.5
女性50-54歳	213	27.7	48.8	21.1	2.3	76.5	23.4
女性55-59歳	181	26.5	44.2	24.9	4.4	70.7	29.3

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.18 老後の生活における適当な話し相手がいらないことへの不安

老後の生活における適当な話し相手がいらないことへの不安は、「あまり不安でない」46.2%と「少し不安に感じる」37.2%がほぼ同水準。次いで「大変不安に感じる」が16.5%。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安」が「不安でない」を幾分上回っている。男女ともに年齢階層が上がるにつれて不安感は後退し、女性の50代では「不安でない」が「不安」を上回る。

図表 78 老後の生活における適当な話し相手がいないことへの不安(%)

n=		大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	16.5	37.2	37.8	8.5	53.7	46.3
男性40-44歳	394	16.0	43.4	31.5	9.1	59.4	40.6
男性45-49歳	296	17.2	37.8	31.8	13.2	55.0	45.0
男性50-54歳	242	17.4	37.6	38.8	6.2	55.0	45.0
男性55-59歳	204	15.7	36.8	39.7	7.8	52.5	47.5
女性40-44歳	443	19.2	34.5	37.9	8.4	53.7	46.3
女性45-49歳	302	16.9	35.1	41.1	7.0	52.0	48.1
女性50-54歳	213	13.6	34.7	44.1	7.5	48.3	51.6
女性55-59歳	181	12.7	35.4	44.8	7.2	48.1	52.0

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.19 老後の生活における恋人がいないことへの不安

老後の生活における恋人がいないことへの不安は、「あまり不安でない」が 34.6%で第1位。次いで「少し不安に感じる」が 29.5%。さらに「大変不安に感じる」18.1%、「まったく大変でない」17.8%と分散化の傾向がみられる。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安でない」が「不安」を幾分上回っている。男性は年齢階層ともに不安感が強いのに対して、女性はいずれも「不安でない」が「不安」を上回っている。

図表 79 老後の生活における恋人がいないことへの不安(%)

n=		大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	18.1	29.5	34.6	17.8	47.6	52.4
男性40-44歳	394	22.8	34.8	28.2	14.2	57.6	42.4
男性45-49歳	296	24.7	31.4	27.0	16.9	56.1	43.9
男性50-54歳	242	20.7	32.2	36.0	11.2	52.9	47.2
男性55-59歳	204	16.2	34.8	33.3	15.7	51.0	49.0
女性40-44歳	443	20.1	28.0	35.0	16.9	48.1	51.9
女性45-49歳	302	12.9	26.5	39.4	21.2	39.4	60.6
女性50-54歳	213	10.8	24.4	41.3	23.5	35.2	64.8
女性55-59歳	181	7.7	19.9	44.2	28.2	27.6	72.4

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.20 老後の生活における最期を看取ってくれる人がいないことへの不安

老後の生活における最期を看取ってくれる人がいないことへの不安は、「少し不安に感じる」が 37.5%で第1位。次いで「あまり不安でない」30.1%。さらに「大変不安に感じる」21.7%と続く。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安」が「不安でない」を上回っている。男性は40代で、女性は40代前半で、他の年齢層に比べて不安感が強い。

図表 80 老後の生活における最期を看取ってくれる人がいないことへの不安(%)

n=		大変不安に感じる	少し不安に感じる	あまり不安でない	まったく不安を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	21.7	37.5	30.1	10.7	59.2	40.8
男性40-44歳	394	20.1	41.9	25.4	12.7	62.0	38.1
男性45-49歳	296	23.0	37.5	25.3	14.2	60.5	39.5
男性50-54歳	242	24.0	35.1	32.2	8.7	59.1	40.9
男性55-59歳	204	19.1	33.8	36.3	10.8	52.9	47.1
女性40-44歳	443	24.8	38.8	29.3	7.0	63.6	36.3
女性45-49歳	302	20.9	36.4	30.5	12.3	57.3	42.8
女性50-54歳	213	20.7	35.2	32.4	11.7	55.9	44.1
女性55-59歳	181	18.2	36.5	37.0	8.3	54.7	45.3

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.21 老後の生活における自身の葬儀や墓の世話のことへの不安

老後の生活における自身の葬儀や墓の世話のことへの不安は、「少し不安に感じる」が38.6%で第1位。次いで「あまり不安でない」29.9%。さらに「大変不安に感じる」20%と続く。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安」が「不安でない」を上回っている。男性は50代前半で、女性は40歳代前半で、他の年齢層に比べて不安感が強い。

図表 81 老後の生活における自身の葬儀や墓の世話のことへの不安(%)

n=		大変不安に感じる	少し不安に感じる	あまり不安でない	まったく不安を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	20.0	38.6	29.9	11.5	58.6	41.4
男性40-44歳	394	19.5	38.3	29.4	12.7	57.8	42.1
男性45-49歳	296	21.6	38.9	24.0	15.5	60.5	39.5
男性50-54歳	242	23.1	39.3	29.8	7.9	62.4	37.7
男性55-59歳	204	17.2	33.8	34.8	14.2	51.0	49.0
女性40-44歳	443	21.7	40.4	28.2	9.7	62.1	37.9
女性45-49歳	302	19.2	40.4	31.5	8.9	59.6	40.4
女性50-54歳	213	19.7	38.0	29.1	13.1	57.7	42.2
女性55-59歳	181	14.4	37.0	38.1	10.5	51.4	48.6

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.22 老後の生活における適当な趣味のないことへの不安

老後の生活における適当な趣味のないことへの不安は、「あまり不安でない」が48.8%で第1位。次いで「少し不安に感じる」25%。さらに「まったく不安を感じない」16.4%と続く。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安でない」が「不安」を大幅に上回っている。女性の50歳代後半で、他の年齢層に比べて特に不安感が弱い。

図表 82 老後の生活における適当な趣味のないことへの不安(%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	9.8	25.0	48.8	16.4	34.8	65.2
男性40-44歳	394	12.2	28.4	42.1	17.3	40.6	59.4
男性45-49歳	296	10.5	27.7	43.2	18.6	38.2	61.8
男性50-54歳	242	9.9	26.9	50.0	13.2	36.8	63.2
男性55-59歳	204	8.8	23.0	51.0	17.2	31.8	68.2
女性40-44歳	443	11.1	23.9	49.2	15.8	35.0	65.0
女性45-49歳	302	8.3	22.5	53.6	15.6	30.8	69.2
女性50-54歳	213	6.1	25.8	52.6	15.5	31.9	68.1
女性55-59歳	181	7.7	18.2	55.2	18.8	25.9	74.0

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.5.23 老後の生活における雇用が不安定なことへの不安

老後の生活における雇用が不安定なことへの不安は、「少し不安に感じる」が 40.3%で第1位。次いで「あまり不安でない」31.1%。さらに「大変不安に感じる」20.8%と続く。「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」、「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」のそれぞれの合計でみると、全体では「不安」が「不安でない」を上回っている。女性の50歳代後半だけは、他の年齢階層と異なり不安感が弱い。

図表 83 老後の生活における雇用が不安定なことへの不安 (%)

	n=	大変不安に 感じる	少し不安に感 じる	あまり不安で ない	まったく不安 を感じない	不安	不安でない
TOTAL	2,275	20.8	40.3	31.1	7.7	61.1	38.8
男性40-44歳	394	21.3	42.9	29.7	6.1	64.2	35.8
男性45-49歳	296	18.9	40.2	32.4	8.4	59.1	40.8
男性50-54歳	242	21.1	41.7	30.2	7.0	62.8	37.2
男性55-59歳	204	16.7	37.3	33.8	12.3	54.0	46.1
女性40-44歳	443	21.0	43.3	28.2	7.4	64.3	35.6
女性45-49歳	302	25.2	43.7	25.5	5.6	68.9	31.1
女性50-54歳	213	23.0	35.7	37.1	4.2	58.7	41.3
女性55-59歳	181	17.1	28.7	39.8	14.4	45.8	54.2

(注)「不安」は「大変不安に感じる」と「少し不安に感じる」の合計。

「不安でない」は「あまり不安でない」と「まったく不安を感じない」の合計。

4.6 異性との交際状況

異性との交際に関して「交際相手も異性の友人もいない」46.3%が第1位で、次いで「交際相手はいないが異性の友人はいる」が22.6%。男性の40代後半と50代では、「交際相手も異性の友人もいない」がいずれも過半数を占めている。

図表 84 異性との交際状況 (%)

	n=	結婚を前提 に交際をして いる	結婚を前提と せず恋人とし て交際してい る	交際相手は いないが異 性の友人は いる	交際相手も異 性の友人もい ない	答えたくない
TOTAL	2,275	4.5	9.3	22.6	46.3	17.3
男性40-44歳	394	7.6	7.6	20.8	48.7	15.2
男性45-49歳	296	3.0	6.4	21.3	50.3	18.9
男性50-54歳	242	3.3	7.0	23.1	51.7	14.9
男性55-59歳	204	0.5	5.9	23.0	54.9	15.7
女性40-44歳	443	6.5	13.5	19.9	41.1	19.0
女性45-49歳	302	4.6	11.9	24.8	43.4	15.2
女性50-54歳	213	3.3	9.9	24.9	40.4	21.6
女性55-59歳	181	2.2	9.4	27.6	42.5	18.2

4.7 結婚の意向

結婚の意向に関して「結婚するつもりはない」49.8%が第1位で、次いで僅差で「適当な人がいたら結婚したい」が46.9%。年齢層が高くなると「結婚するつもりはない」の回答割合が多くなる。男性よりも女性でその傾向はより強い。

図表 85 結婚の意向 (%)

	n=	すでに結婚 相手が決まっ ている	適当な人が いたら結婚し たい	結婚するつも りはない
TOTAL	2,275	3.3	46.9	49.8
男性40-44歳	394	4.1	60.9	35.0
男性45-49歳	296	2.4	51.7	45.9
男性50-54歳	242	2.9	45.0	52.1
男性55-59歳	204	1.0	42.2	56.9
女性40-44歳	443	4.7	54.9	40.4
女性45-49歳	302	4.3	40.4	55.3
女性50-54歳	213	2.8	37.1	60.1
女性55-59歳	181	2.2	18.8	79.0

4.8 過去または現在における介護の経験

介護が必要な家族が過去にいたか、あるいは現在いるかについては、「母親」が10.8%で第1位。次いで「父親」が5.8%。一方で「介護の経験はない」が83.2%。男女ともに年齢階層が上がるにつれて、介護者を抱える割合が増えるが、特に女性ではその傾向が強い。

図表 86 過去または現在における介護の経験(%)

	n=	ない	父親	母親	兄	弟	姉	妹	祖父	祖母	その他
TOTAL	2,275	83.2	5.8	10.8	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	1.5	0.6
男性40-44歳	394	89.8	4.6	4.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.8
男性45-49歳	296	87.8	3.4	7.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	1.0	1.0
男性50-54歳	242	83.5	6.2	11.6	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	1.7	0.4
男性55-59歳	204	74.0	5.4	23.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
女性40-44歳	443	86.7	6.1	4.3	0.9	0.0	0.5	0.2	0.5	2.5	0.5
女性45-49歳	302	84.1	5.0	9.9	0.3	0.3	0.0	0.7	0.7	1.3	0.3
女性50-54歳	213	78.4	7.5	16.0	0.9	0.0	0.5	0.0	0.5	1.4	0.5
女性55-59歳	181	66.3	10.5	28.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	1.1

4.9 (介護経験がある人のみ) 実際の主な対処方法

要介護者が家族にいる場合の対処方法については、「同居家族が介護」が 22.7%で第1位。次いで「働きながら自分で介護」が 20.9%、「仕事をやめて自分で介護」が 16.4%と続く。男女ともに 50 代後半では、「仕事をやめて自分で介護」が全体の 4 分の 1 を占める。

図表 87 過去または現在に介護経験がある人の対処方法(%)

	n=	仕事をやめて自分で介護	働きながら自分で介護	同居家族が介護	その他親族が介護	ホームヘルプサービス、訪問看護などの在宅介護を利用	公的介護施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設など)に入所	介護付き有料老人ホームに入所	病院に入院	家政婦を雇用	その他
TOTAL	383	16.4	20.9	22.7	3.7	9.4	10.2	5.0	8.1	0.3	3.4
男性40-44歳	40	17.5	12.5	27.5	7.5	15.0	10.0	7.5	2.5	0.0	0.0
男性45-49歳	36	16.7	11.1	22.2	0.0	11.1	16.7	0.0	16.7	0.0	5.6
男性50-54歳	40	10.0	25.0	7.5	12.5	15.0	12.5	5.0	7.5	2.5	2.5
男性55-59歳	53	24.5	18.9	15.1	1.9	17.0	7.5	3.8	11.3	0.0	0.0
女性40-44歳	59	5.1	15.3	44.1	1.7	3.4	10.2	5.1	11.9	0.0	3.4
女性45-49歳	48	18.8	20.8	31.3	2.1	2.1	8.3	6.3	6.3	0.0	4.2
女性50-54歳	46	13.0	34.8	21.7	4.3	6.5	4.3	6.5	4.3	0.0	4.3
女性55-59歳	61	24.6	26.2	9.8	1.6	8.2	13.1	4.9	4.9	0.0	6.6

4.10 将来、親の介護が必要になった時の対処方法

将来、親の介護が必要になった時の対処方法については、「在宅介護を利用」が第1位で 20.4%。次いで「仕事をやめて自分で介護」16.4%。「公的介護施設への入所」は 11.4%。前項 4.9 (過去または現在の対処方法) に比べると、将来の親の介護については、「在宅介護」に対する期待が大きいことがみてとれる。

図表 88 将来、親の介護が必要になった時の対処方法(%)

	n=	仕事をやめて自分で介護	会社の介護休業制度などを利用し自分で介護	同居家族が介護	その他親族が介護	ホームヘルプサービス、訪問看護などの在宅介護を利用	公的介護施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設など)に入所	介護付き有料老人ホームに入所	病院に入院	家政婦を雇用	親はいない	その他
TOTAL	2,275	16.4	10.0	10.6	4.5	20.4	11.5	3.8	4.9	0.3	11.9	5.8
男性40-44歳	394	18.0	11.2	13.2	5.1	19.8	12.7	4.1	5.3	0.3	6.1	4.3
男性45-49歳	296	17.9	8.8	12.5	5.1	14.9	8.8	4.7	4.4	0.7	13.2	9.1
男性50-54歳	242	17.8	5.4	9.9	6.6	16.1	12.4	5.0	3.7	0.0	19.0	4.1
男性55-59歳	204	13.7	3.4	5.9	4.9	19.6	14.7	4.4	4.4	1.0	23.5	4.4
女性40-44歳	443	14.4	13.5	12.9	5.2	26.0	9.7	3.6	4.1	0.2	3.6	6.8
女性45-49歳	302	17.9	15.9	9.6	3.0	24.2	13.2	1.7	3.3	0.0	6.6	4.6
女性50-54歳	213	14.6	10.8	7.0	2.3	21.6	11.3	4.2	5.6	0.0	16.0	6.6
女性55-59歳	181	16.6	3.3	8.3	2.2	15.5	10.5	2.8	11.0	0.6	23.8	5.5

5 老後の生活について

5.1 老後の生活設計を考え始めた時期

自分自身が65歳以上になった場合の生活設計について、「まだ考えていない」が第1位で61.6%。次いで多いのが男性では調査時点またはその直前から考え始めた人。女性は40代前半では男性と同様だが、40代後半以降では調査時点より5年ほど前から考え始めている。女性の50代後半では「まだ考えていない」は38.7%で、他の男女の年齢階層の50%以上に比べて、老後の生活を考えている割合が高い。女性の方が男性よりも老後のことを時期的に早めに考えている割合が多い。

図表 89 老後の生活設計を考え始めた時期(%)

	n=	まだ考えていない	20歳代	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以降
TOTAL	2,275	61.6	2.5	3.2	5.5	10.2	7.7	6.7	2.6
男性40-44歳	394	74.4	2.5	5.6	7.1	10.4	0.0	0.0	0.0
男性45-49歳	296	69.9	1.4	2.7	3.0	10.1	12.8	0.0	0.0
男性50-54歳	242	58.7	0.8	0.8	2.1	6.2	14.0	17.4	0.0
男性55-59歳	204	49.0	1.5	0.5	1.5	4.4	9.3	16.7	17.2
女性40-44歳	443	66.4	3.8	4.3	11.7	13.8	0.0	0.0	0.0
女性45-49歳	302	61.6	3.6	4.0	6.6	16.2	7.9	0.0	0.0
女性50-54歳	213	51.6	1.9	2.3	3.3	7.0	17.4	16.4	0.0
女性55-59歳	181	38.7	3.3	1.7	0.6	7.2	12.7	22.7	13.3

5.2 老後に最低限の生活を営むのに必要な1ヵ月の生活費

老後に最低限の生活を営むのに必要な1ヵ月の生活費は、「10万円以上15万円未満」が第1位で33.4%。次いで「15万円以上20万円未満」が27.2%と、両者を合わせた「10万円以上20万円未満」で過半数を占めている。さらに「10万円未満」が15.3%と続く。以上の3つの選択肢の合計で75%前後を占めており、これらは男女間や年齢階層で大きな違いはみられない。女性では年齢階層が上がるにつれて「10万円未満」が減って、「15万円以上20万円未満」が増加するが、男性ではこのような傾向がみられない。

図表 90 老後に最低限の生活を営むのに必要な 1 ヶ月の生活費(%)

n=		10万円未満	10万円以上 15万円未満	15万円以上 20万円未満	20万円以上 25万円未満	25万円以上 30万円未満	30万円以上 35万円未満	35万円以上 40万円未満	40万円以上
TOTAL	2,275	15.3	33.4	27.2	13.3	6.2	2.2	0.6	1.9
男性40-44歳	394	16.0	28.9	30.5	14.2	5.8	1.5	0.3	2.8
男性45-49歳	296	20.3	29.7	24.0	12.8	6.4	3.0	0.7	3.0
男性50-54歳	242	16.1	34.3	26.4	11.6	7.9	1.2	1.2	1.2
男性55-59歳	204	17.6	36.8	22.5	11.3	6.9	4.4	0.5	0.0
女性40-44歳	443	15.1	35.0	26.6	12.6	6.3	2.3	0.5	1.6
女性45-49歳	302	12.3	35.8	27.5	14.9	4.6	1.7	0.7	2.6
女性50-54歳	213	11.3	37.1	27.7	13.6	6.1	2.3	0.9	0.9
女性55-59歳	181	11.6	32.0	31.5	14.9	6.6	1.1	0.0	2.2

5.3 老後にゆとりある生活を営むのに必要な 1 ヶ月の生活費

老後にゆとりある生活を営むのに必要な 1 ヶ月の生活費は、「20 万円以上 25 万円未満」が第 1 位で 26.7%。次いで「20 万円未満」25.5%、「25 万円以上 30 万円未満」18.3%と続く。「20 万円未満」と「20 万円以上 25 万円未満」で過半数を占める。以上の 3 つの選択肢のうちでも男性は女性よりも「20 万円未満」が最も多く、逆に女性は「25 万円以上 30 万円未満」が最も多い。

図表 91 老後にゆとりある生活を営むのに必要な 1 ヶ月の生活費(%)

n=		20万円未満	20万円以上 25万円未満	25万円以上 30万円未満	30万円以上 35万円未満	35万円以上 40万円未満	40万円以上 45万円未満	45万円以上 50万円未満	50万円以上
TOTAL	2,275	25.5	26.7	18.3	13.8	6.9	3.0	1.8	3.9
男性40-44歳	394	21.6	27.7	21.1	14.2	5.3	3.6	2.3	4.3
男性45-49歳	296	33.1	20.6	16.2	13.5	6.1	3.4	2.7	4.4
男性50-54歳	242	25.6	28.5	17.8	12.0	5.4	3.3	1.7	5.8
男性55-59歳	204	32.8	27.0	17.2	10.3	7.4	2.0	1.0	2.5
女性40-44歳	443	25.7	23.5	17.6	16.3	10.2	3.2	1.4	2.3
女性45-49歳	302	24.5	28.8	17.5	13.6	5.6	3.0	1.3	5.6
女性50-54歳	213	19.2	29.1	20.2	15.5	8.5	2.8	2.3	2.3
女性55-59歳	181	21.5	33.1	18.2	12.7	6.1	2.2	2.2	3.9

5.4 老後の収入源

65 歳以降の生活の収入源については⁷、第 1 位が「公的年金」31%、「仕事による収入」28.5%。第 2 位は「公的年金」24.8%、「預貯金」16.1%、「個人年金」13.3%、「仕事による収入」11.1%。第 3 位は「預貯金」21.3%、「個人年金」11.4%。年齢階層が上がると男女ともに「仕事による収入」は減少する一方、「公的年金」の割合が上昇。女性の方が「個人年金」や「預貯金」での備えを男性よりもしっかり行っている。

⁷ 設問は「優先位の高いものから順に最大 5 つまで選択を」とあるが、4 位では「わからない」が 55.1%、5 位では 74.8%を占める。したがって、ここでは実質的に有効と思われる 3 位までの回答内容を確認する。

図表 92 老後の収入源・第1位(%)

	n=	仕事による収入	公的年金(国民年金、厚生年金)	企業年金(厚生年金基金、確定給付企業年金など)	個人年金(個人年金保険、簡易保険など)	不動産収入	利息・配当金収入	預貯金	親族からの支援	生活保護	その他	わからない
TOTAL	2,275	28.5	31.0	5.3	3.7	1.7	1.9	10.1	0.3	2.1	0.4	15.1
男性40-44歳	394	35.8	27.7	6.3	1.5	1.5	2.5	8.4	0.0	2.5	1.0	12.7
男性45-49歳	296	32.1	25.0	4.1	4.4	1.7	2.7	8.4	0.3	1.7	0.3	19.3
男性50-54歳	242	33.1	30.6	4.1	3.7	2.9	2.5	7.4	0.0	3.3	0.4	12.0
男性55-59歳	204	20.1	43.1	6.4	2.0	1.5	3.9	8.3	0.0	3.9	0.5	10.3
女性40-44歳	443	25.3	30.2	6.8	2.9	0.9	0.9	14.0	0.7	2.3	0.2	15.8
女性45-49歳	302	30.5	28.1	5.3	6.3	2.0	0.3	9.3	0.3	1.0	0.3	16.6
女性50-54歳	213	24.9	32.9	2.8	4.7	0.9	1.9	12.2	0.0	0.5	0.0	19.2
女性55-59歳	181	18.8	39.8	4.4	5.5	2.8	1.1	11.0	1.1	1.1	0.0	14.4

図表 93 老後の収入源・第2位(%)

	n=	仕事による収入	公的年金(国民年金、厚生年金)	企業年金(厚生年金基金、確定給付企業年金など)	個人年金(個人年金保険、簡易保険など)	不動産収入	利息・配当金収入	預貯金	親族からの支援	生活保護	その他	わからない
TOTAL	2,275	11.1	24.8	7.2	13.3	1.5	2.6	16.1	0.5	2.0	0.3	20.5
男性40-44歳	394	15.2	26.9	7.6	9.9	1.8	2.8	16.2	0.8	1.8	0.5	16.5
男性45-49歳	296	11.1	24.7	6.4	10.8	1.4	3.4	13.5	0.0	5.1	0.7	23.0
男性50-54歳	242	12.0	29.3	6.2	11.6	1.2	2.9	12.4	0.8	2.1	0.4	21.1
男性55-59歳	204	16.7	22.1	8.8	12.7	2.5	4.4	14.2	0.5	1.0	0.0	17.2
女性40-44歳	443	10.2	21.7	7.2	14.9	1.6	2.3	19.4	0.2	1.4	0.0	21.2
女性45-49歳	302	7.9	29.5	7.9	11.9	1.0	2.0	17.9	1.0	0.7	0.0	20.2
女性50-54歳	213	7.5	19.7	5.6	16.9	0.9	1.9	16.0	0.9	2.3	0.5	27.7
女性55-59歳	181	6.6	23.8	7.2	22.1	1.7	1.7	16.6	0.0	1.7	0.0	18.8

図表 94 老後の収入源・第3位(%)

	n=	仕事による収入	公的年金(国民年金、厚生年金)	企業年金(厚生年金基金、確定給付企業年金など)	個人年金(個人年金保険、簡易保険など)	不動産収入	利息・配当金収入	預貯金	親族からの支援	生活保護	その他	わからない
TOTAL	2,275	7.5	8.0	6.2	11.4	1.8	5.7	21.3	1.3	3.3	0.2	33.4
男性40-44歳	394	9.1	8.4	7.6	10.7	1.8	5.1	23.6	0.3	4.6	0.3	28.7
男性45-49歳	296	9.5	8.8	7.4	7.4	1.0	3.7	19.9	2.0	2.7	0.3	37.2
男性50-54歳	242	7.9	7.9	7.9	11.2	1.7	7.4	17.8	1.7	2.1	0.0	34.7
男性55-59歳	204	5.4	7.4	6.4	11.8	0.5	8.8	23.0	2.0	3.4	1.0	30.4
女性40-44歳	443	7.9	8.6	5.2	12.0	1.4	5.0	22.6	0.9	3.2	0.0	33.4
女性45-49歳	302	7.9	6.6	7.0	10.9	3.3	2.3	21.2	2.0	3.3	0.3	35.1
女性50-54歳	213	5.2	9.4	2.8	13.6	2.3	6.6	17.4	1.4	3.3	0.0	38.0
女性55-59歳	181	3.9	6.1	4.4	16.0	2.2	10.5	22.7	1.1	2.8	0.0	30.4

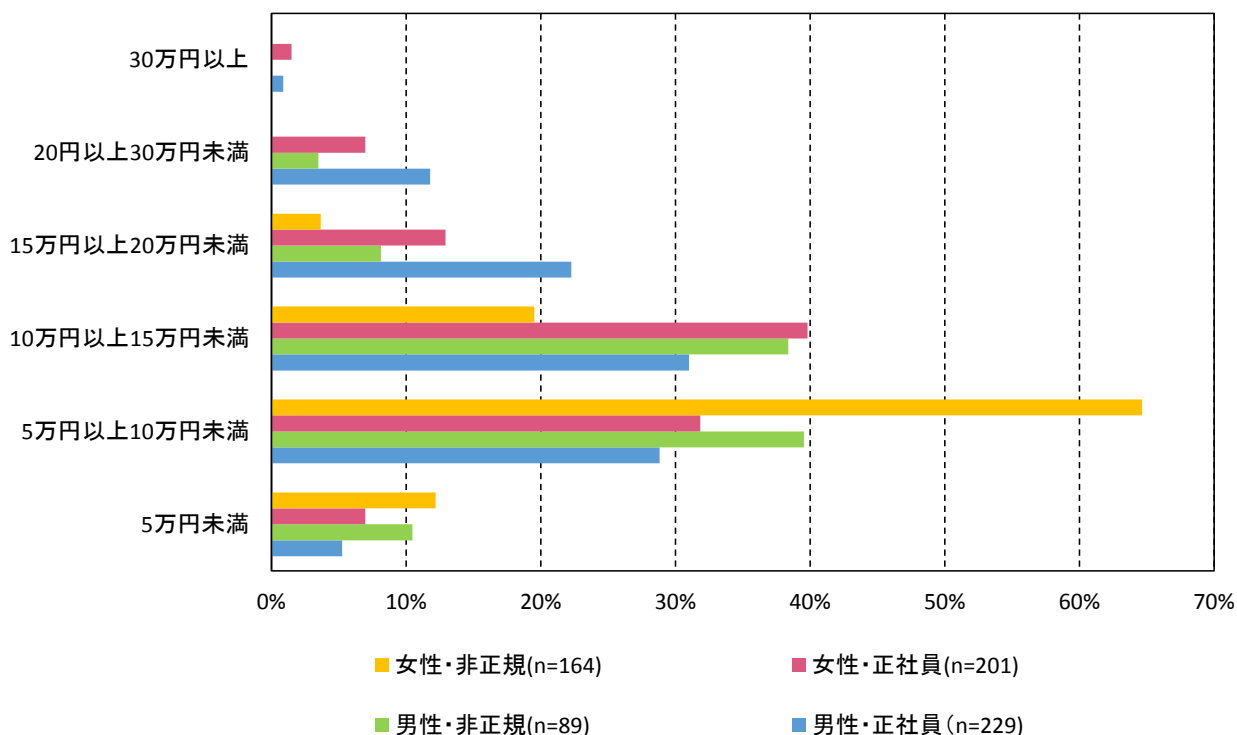
5.5 将来の公的年金の見込み額（月額）

公的年金の受取見込み額（月額）は男性が平均 10 万 2,000 円、女性が平均 8 万 9,000 円⁸。男女別、正社員・非正規別の分布をみると、女性・非正規の 64.6%が「5 万円以上 10

⁸ 回答率は男女合計で 48.3%、男性が 49.5%、女性が 47.0%。

万円未満」に集中し、男性・非正規も「5万円以上10万円未満」が39.5%、「10万円以上15万円未満」が38.4%と両者に集中している。他方で正社員は男女ともに非正規に比べると高額帯にも分布が広がっている。

図表 95 公的年金の見込み額（月額、%）



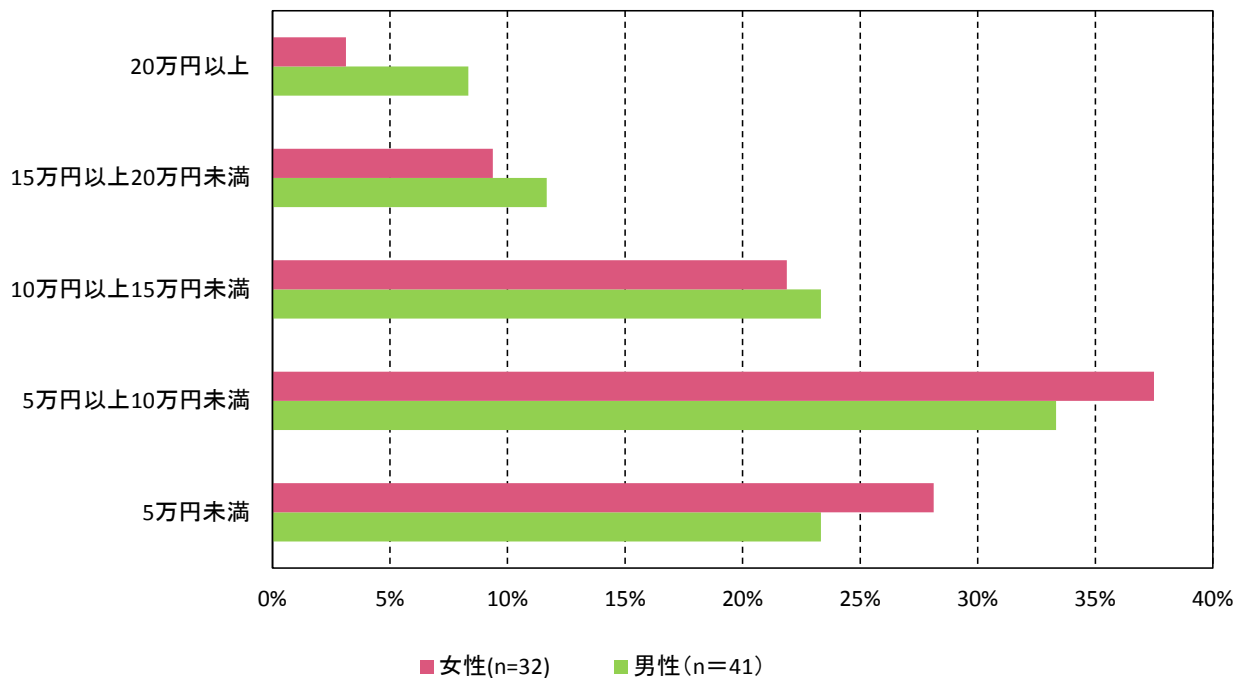
（注）回答率は、男性・正社員が47.9%、男性・非正規が39.4%、女性・正社員が50.3%、女性・非正規が43.7%。

5.6 将来の企業年金の見込み額（月額）

企業年金の受取見込み額（月額）は男性が平均9万円、女性が平均6万7,000円⁹。全体の91.8%は企業年金に非加入と回答している。男女ともに月額で「5万円以上10万円未満」が1番多い。

⁹ 回答率は男女合計で95%だが、このうち企業年金に非加入が91.8%、受取金額の回答率は3.2%、73サンプルに過ぎない。

図表 96 企業年金の見込み額（月額、%）



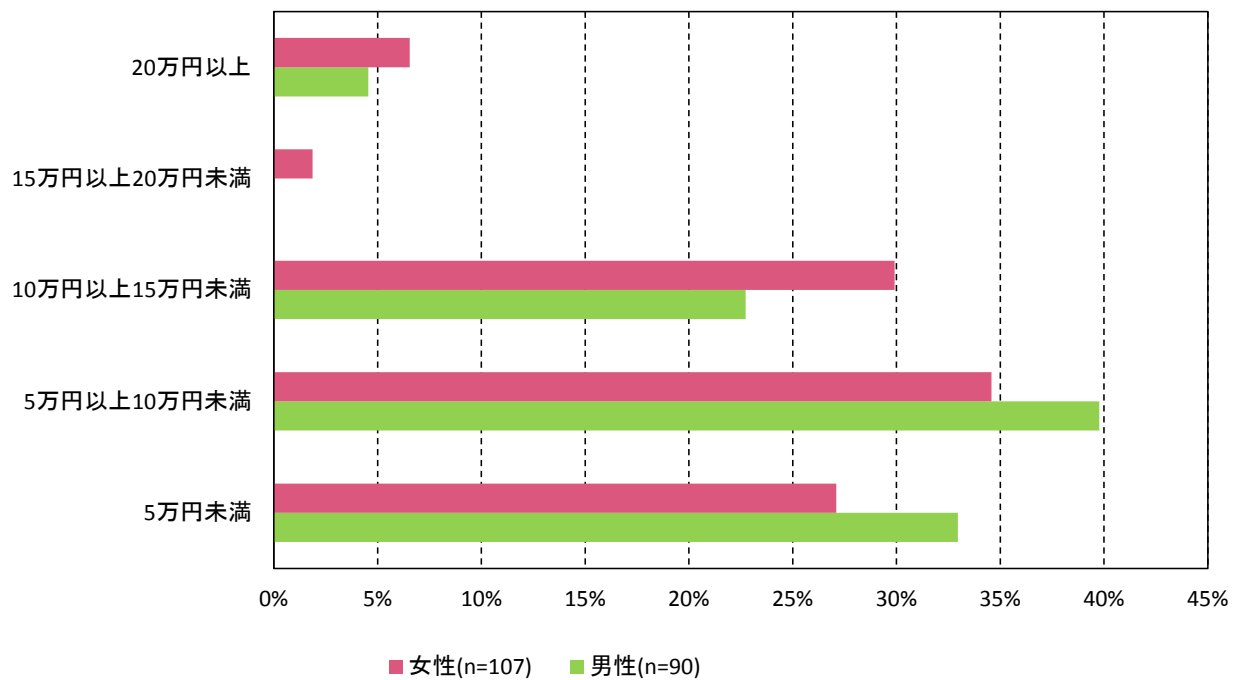
（注）回答率は95%で非加入が91.8%を占める。加入者で受取金額を回答した者のみをグラフ化した。

5.7 将来の個人年金の見込み額（月額）

個人年金の受取見込み額（月額）は男性が平均7万3,000円、女性が平均10万4,000円¹⁰。全体の86.5%は個人年金に加入していないと回答している。男性は「5万円以上10万円未満」が1番多く、次いで「5万円未満」と続く。女性では「5万円以上10万円未満」が男性と同様に1番多いが、2番目は「10万円以上15万円未満」で、男性より金額帯が高い。

¹⁰ 回答率は男女合計で95.2%だが、このうち企業年金に非加入が86.5%、受取金額の回答率は8.6%、197サンプルに過ぎない。

図表 97 個人年金の見込み額（月額、%）



（注）回答率は95.2%で非加入が86.5%を占める。加入者で受取金額を回答した者のみをグラフ化した。

5.8 将来、自分の介護が必要になった時の対処方法

将来、自分の介護が必要になった時の対処方法は、「在宅介護を利用する」が第1位で34.3%。次いで「公的介護施設に入所する」27.3%、「病院に入院する」22.1%、「有料老人ホームに入所する」13.6%と続く。「公的介護施設に入所する」や「介護付き有料老人ホームに入所する」は、男女ともに年齢階層が上がると増加する。

図表 98 将来、自分の介護が必要になった時の対処方法(%)

	n=	在宅介護(自宅でホームヘルプサービス、訪問看護など)を利用する	将来、恋人あるいは結婚して配偶者に介護してもらう	将来、子ども(養子を含む)に介護してもらう	親族に介護してもらう	友人に介護してもらう	公的介護施設(特別養護老人ホーム・老人保健施設など)に入所する	介護付き有料老人ホームに入所する	病院に入院する	その他
TOTAL	2,275	34.3	5.3	1.2	4.7	0.6	27.3	13.6	22.1	13.5
男性40-44歳	394	33.0	9.1	3.3	4.6	0.3	21.3	9.9	24.1	11.9
男性45-49歳	296	29.1	5.4	1.4	4.7	1.4	22.0	10.8	23.3	20.3
男性50-54歳	242	32.2	5.0	0.8	5.0	0.4	26.4	10.7	22.3	15.7
男性55-59歳	204	38.2	4.9	1.0	4.4	1.5	31.4	18.1	22.1	11.3
女性40-44歳	443	34.1	5.9	1.1	4.1	0.2	28.9	13.3	23.7	11.5
女性45-49歳	302	37.7	4.3	0.3	4.6	0.7	28.1	14.9	19.2	15.6
女性50-54歳	213	35.7	3.3	0.0	6.1	0.5	31.9	15.0	21.1	11.7
女性55-59歳	181	37.6	0.6	0.0	5.0	0.0	35.4	22.1	17.7	8.8

参考文献

シニアプラン開発機構（2001）『独身女性（40～50代）を中心とした中年女性の老後生活設計ニーズ及び社会的支援に関する調査』

—————（2006）『第2回 独身女性（40～50代）を中心とした女性の老後生活設計ニーズに関する調査』

年金シニアプラン総合研究機構（2011）『第3回 独身女性（40～50代）を中心とした女性の老後設計ニーズに関する調査』